

東海北陸ブロックまちづくり委員会

2023. 09. 30

16:00～17:45

場所：富山市電気ビル4階7号室

参加：愛知建築士会 三重県建築士会 岐阜県建築士会 静岡県建築士会
福井県建築士会 石川県建築士会 富山県建築士会

議題

- 1 東海北陸ブロックまちづくり委員会・富山開催にあたって
- 2 連合会まちづくり委員会の活動内容
 - ・全国大会しずおか大会
 - まちづくり賞公開選考会&発表会
 - まちづくりセッション
 - 静岡県建築士会主催の講話&街歩き第1弾・第2弾等
 - ・まちづくり会議・全国まちづくり委員長会議
- 3 各県のまちづくり活動報告
- 4 次回開催県について
静岡県
- 5 その他

熊本 2月頃

令和5年度 建築士会東海北陸ブロック会議

まちづくり委員会 各県委員長名簿

所 属	役 職	氏 名	メールアドレス	電話番号	富岩 ライン	旧馬 場家	ライト レール	会議	懇親 会
愛知県 建築士会	まちづくり委員長	石井隆司	ishiisekkei@eco.ocn.ne.jp	090-3554-0135	○	○	○	○	○
三重県 建築士会	まちづくり委員長	佐野功児	kouji40@topaz.ocn.ne.jp	090-8133-9020	○	○	○	○	×
岐阜県 建築士会	まちづくり委員長	今井通陽	infi.jr@muse.ocn.ne.jp	090-3303-7635	○	○	○	○	○
石川県 建築士会	副 まちづくり委員長	竹内正人	masatake@notoaqua.jp	090-6270-9109	○	○	○	○	×
福井県 建築士会	まちづくり委員長	脇本淳子	junko@kore.mitene.or.jp	090-2834-2691	×	×	×	○	×
富山県 建築士会	まちづくり委員長	徳田義弘	tokutoku1711@gmail.com	090-8264-2932	4人	4	4	4	4
静岡県 建築士会	まちづくり委員長	塩見 寛	omikan@cy.tnc.ne.jp	090-7910-6543	○	○	○	○	○
計									

10/26

まちづくり賞発表会 & 公開選考会
10/26 木 12:30~15:30 中島屋がらみホテル4F

表1 第12回まちづくり賞 応募作品

受付 番号	まちづくり事例の名称	まちづくり活動団体	活動 地域
2301	美しい農村風景づくり	澤田勝彦 (個人)	福島
2302	割竹を用いた仮設舞台ステージでの野外演劇の上演	九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻 末廣香織研究室 Team Bamboo	福岡
◎ 2303	寿百家店プロジェクト	株式会社寿百家店	福岡
2304	桜咲き緑あふれる高見三条の街並み継承の取り組み	高見三条街並み協定運営委員会	福岡
2305	飛騨高山の山林資源活用による循環経済モデルの実践	特定非営利活動法人 活エネルギーアカデミー	岐阜
2306	地域色を引き継ぐ-住宅新築リフォーム講座-	秋田県建築士会仙北支部	秋田
◎ 2307	塩竈の歴史と文化を生かしたまちづくり	特定非営利活動法人 NPO みなとしほがま	宮城
2308	2040プロジェクトの活動	山梨建築設計4団体2040プロジェクト	山梨
◎ 2309	三輪山をシンボルとする桜井地区のエリアマネジメント	都市再生推進法人桜井まちづくり株式会社 (兼) 桜井市本町通・周辺まちづくり協議会	奈良
2310	里山を拠点としたまちづくり「百年亭再生プロジェクト」	認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会	茨城
2311	今帰仁村中央公民館の保全活動から持続可能な沖縄へ	公益社団法人沖縄県建築士会 まちづくり委員会	沖縄
2312	景観を守り育てるまちづくり活動30年	NPO法人まちのよそおいネットワーク & 山口近代建築研究会	山口
2313	青森県内の小学生を対象とした建築デザインコンテスト2013~2019年	一般社団法人青森県建築士会 まちづくり委員会	青森
2314	Circleこみせ	Circleこみせ	青森
2315	石切回廊+ひらくきち/地域のひろばづくり	石切のわ	大阪
2316	小学校住教育(家庭科)サポート事業	特定非営利活動法人 住・環境支援ネット	群馬
◎ 2317	明治の赤レンガ製茶工場遺構が解体危機を乗り越え、菊川のまちづくりの拠点へ	NPO法人菊川まちいき	静岡
2318	世界に一番近い城下町からの「木の文化」の発信	本町のまちづくりを考える会	大阪
◎ 2319	「伝泊+まーぐん広場」×集落文化を中心にした「日常の観光化」によるまちづくり	一般社団法人しま・ひと・たから	鹿児島
2320	里町文化/文化住宅から始めるコミュニティ形成	一般社団法人 baamu lab.	大阪
◎ 2321	「まん中の町」明日も健やかな町へ3つの処方箋	中野町を考える会	静岡
2322	旧町名東町を中心とした米沢のまちづくり	東町プラットフォーム	山形
2323	「地域見守りたい!」地学連携による空き家活用プロジェクト	一般社団法人まちづくり薫巢	島根
2324	ヤドカリプロジェクト	株式会社リージョン・スタディーズ	静岡
◎ 2325	佐賀城下のクリークを活かしたまちづくり	さがクリークネット	佐賀
2326	河原田本町商店街活性化事業	かわはらだ未来塾	新潟
2327	おひがしさん門前未来プロジェクト	おひがしさん門前未来プロジェクト	京都

◎ 1次審査入賞

九州 6	中国 2	近畿 5	東海 4	関東 4	東北 6
福岡 3 佐賀 鹿児島 沖縄	山口 島根	京都 奈良 大阪 3	静岡 3 岐阜	茨城 新潟 群馬 山梨	青森 2 秋田 宮城 山形 福島

27

建築士会全国大会しずおか大会 SHEC 街歩き 第1弾

～静岡市役所議場～静岡県庁別館 21階：110m超の上空から市街、駿府城跡など見る～

・日 時 令和5年10月26日(木) 14:00～16:30

13:30 受付 静岡市役所本館 3階第3委員会室（設計：中村與資平）国登録有形文化財

14:00～14:50 講話・解説

(1)「建築家 中村與資平と静岡市庁舎」

土屋和男 常葉大学教授・静岡県文化財保護審議会委員 博士(学術)

(2)「家康×原風景＝富士山² ～駿府城下町はどのように造られたか～」

塩見 寛 静岡県ヘリテージセンター-SHEC センター長 博士(工学)

15:00～16:00 SHEC街歩き第1弾

静岡市庁舎(S9)議場→県庁舎(S12)別館21階：110m超の高さから家康が計画した駿府の町割り、駿府公園、駿府城発掘場所等を見る・・・案内はここまで。

→七間町通り→札之辻→道路元標→呉服町通り→防火建築帯(1956)など各自自由に散策

16:30までに中島屋グランドホテル4階へ

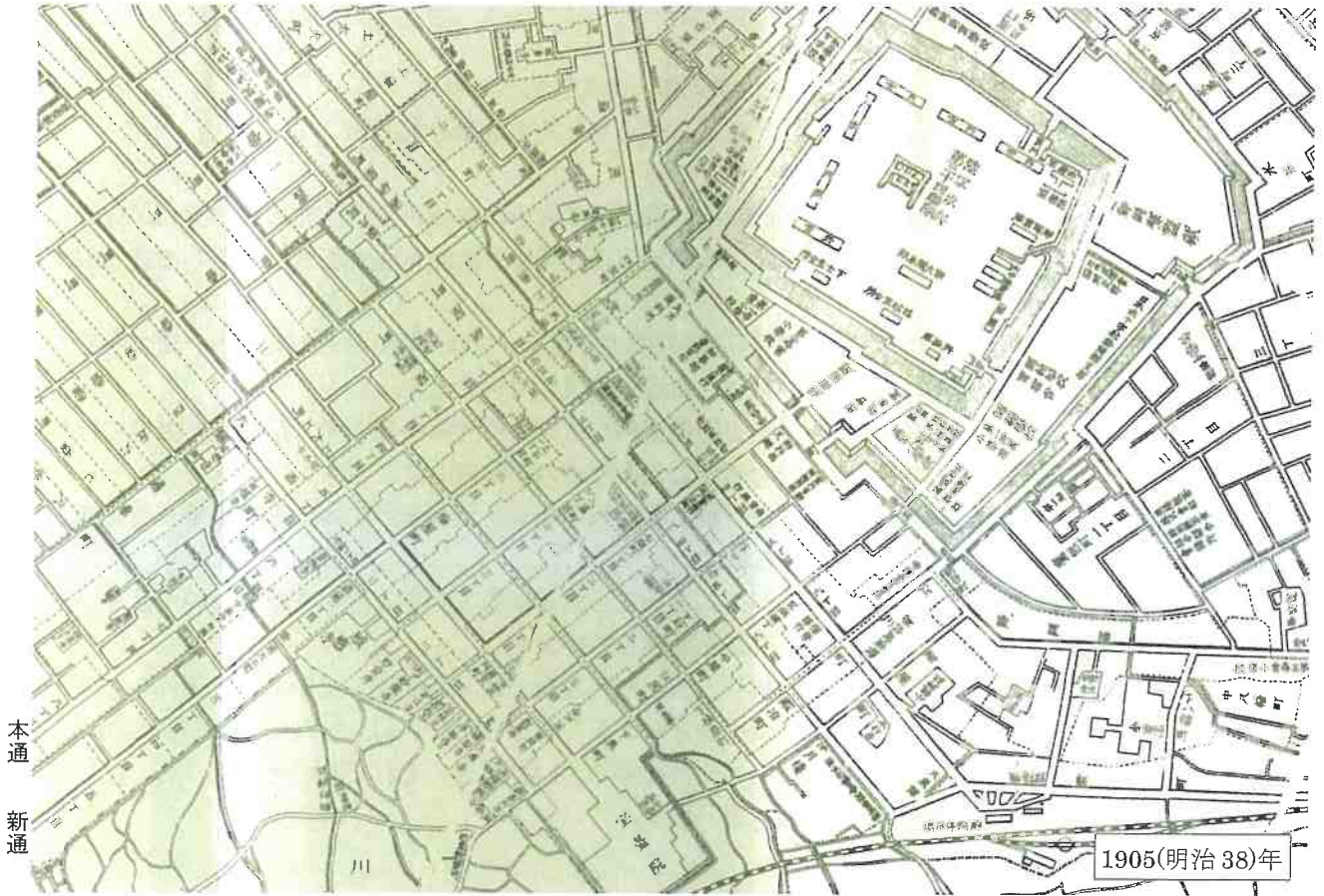
16:30 中島屋グランドホテル4階オーキッド：全国HMN協議会総会



※ 参考・大河ドラマ館静岡 開館 9:00～18:00 入館料 200 円(静岡市在住)、400 円(静岡市外)

・駿府城天守台発掘調査現場見学 発掘情報館きゃっしる 9:00～16:30 入場無料

・歴史博物館(設計 SANAA) 9:00～18:00 1階無料 2・3階 600円



古地図をもって街歩きができる街・静岡・・・明治の地図：江戸時代の基盤が保たれている→1940(昭和15)年、静岡大火→50間四方の街区の間に1本街路新設の計画／青葉通りを防空緑地として計画→1945静岡大空襲→戦災復興土地区画整理→呉服町通り防火建築帯／紺屋町・防災建築街区



景観・歴史まちづくりセッション／第10回全国ヘリテージマネージャー大会プログラム

地域を生かす景観・歴史まちづくり ～静岡「らしさ」のまちづくり・その活動と展開～

趣旨

東海道という東西の人の流れと、510Kmの長い海岸線に大小の河川が注ぐ南北の水の流れが交錯し織りなす静岡県、この多様性に富んだ地域のなかで、まちづくり活動もさまざまなかたちで繰り広げられています。

2005年に静岡士会は静岡県から景観整備機構の指定を受け、2008年からその活動の一環である人材育成として、ヘリテージマネージャーを200名近く養成してきました。

東西の人の流れは交流と文化を育み、歴史的建造物を活かし町並みを保全する活動が、各地で行われています。旧街道沿いに建つ町家や蔵を活かした取り組みが継続しています。

あるいは、明治中期に建てられたお茶の再製工場だった赤レンガ倉庫が解体の危機を乗り越えて、まちの歴史と魅力を発信する活動が続けられています。

また、何度となく訪れるうちに、そこが気に入ってしまった旅人が住人として棲みついてしまい、歴史的な建物や街並みを再生し活用する事業を展開しています。

これからの活動にはそれぞれに物語があり、それぞれの取り組みが展開しています。それらをひと言でとらえるなら静岡「らしさ」のまちづくりといえるでしょうか。「らしさ」はそのまちを生かし、活かす活動であり、静岡「らしさ」のまちづくりを感じていただき、それぞれの地域で「らしさ」を發揮してもらうことにつながればよいと思います。

- 1 日時 令和5年10月27日（金） 10:00～12:00
- 2 会場 グランシップ6階 交流ホール（300名）
- 3 運営 日本建築士会連合会 景観まちづくり部会/歴史まちづくり部会/全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会/静岡県建築士会
- 4 内容

司会	全国ヘリテージマネージャー協議会運営副委員長 内田美知留	(10:00～10:04)
◇ 部会長挨拶	景観まちづくり部会長 豊永信博	(10:04～10:07)
◇ 委員長挨拶	全国協議会運営委員長 後藤 治	(10:07～10:10)
◇ 趣旨説明	歴史まちづくり部会長 青木伊知郎	(10:10～10:12)
	(パネリスト紹介)	(10:12～10:15)
◇ 事例発表		
	コーディネータ 連合会まちづくり委員 塩見 寛	
	○中野町を考える会	
	代表/堀内秀哲	(10:15～10:30)
	○NPO 法人菊川まちいき	
	理事長/大橋隆夫	(10:30～10:45)
	○NPO 法人旧五十嵐邸を考える会	
	理事長/片瀬信江	(10:45～11:00)
	(休憩・予定より延びた場合は5分に短縮)	(11:00～11:15)
◇ 意見交換		(11:15～11:55)
	コメンテータ 連合会まちづくり委員 森崎輝行	
	連合会まちづくり委員 赤川真理	
◇ おわりの挨拶	全国協議会運営副委員長 中西重裕	(11:55～12:00)

塩見寛

差出人: "塩見寛" <omikan@cy.tnc.ne.jp>
日時: 2023年7月27日 15:41
宛先: "全国HMN協議会運営委員会" <heritage@kenchikushikai.or.jp>; "全国HMN協議会会員各位" <heritage-net@kenc
<kosaka@kenchikushikai.or.jp>
CC: "静岡士会 本会事務局" <honkai@shizu-shikai.com>
添付: 01 SHEC街歩き1028_募集.pdf; 02 SHEC街歩き1028_案内図.pdf
件名: 10/28 土しずおか大会SHEC街歩き第2弾のお知らせ

全国HMN協議会の皆様

静岡の塩見寛です。

建築士会全国大会しずおか大会におけるSHEC街歩き第2弾のお知らせです。
10/28 土、9コースのエクスカージョンが予定されていますが、
すべて大型バスで行くコースなので、
SHECでは、お手軽でかつ見ごたえのある街歩きコースを企画しました。

添付の募集案内と案内図をご覧ください。

一つは、昭和10年に完成した木造の教会建築です。
リブヴォールト天井漆喰仕上げ、畳敷きの内部空間の美しさは素晴らしいものです。
解体移築前の建築をとくにご覧いただきたいと思います。

もう一つは、次郎長通りに建つ次郎長生家です。
江戸末期に建てられた町家建築の耐震改修・修復工事の状況をご覧いただきたいです。

この2つの建築の間の「しみず道」を歩いていただき、
宿場と湊町を結んでいた街道に建つ伊豆石蔵・土蔵・煉瓦蔵を見比べてほしいと思います。

参加申込みは、9月30日までに Eメールで静岡県建築士会事務局まで。

honkai@shizu-shikai.com

参加費は500円(資料代及び保険料。当日徴収いたします)

なお、SHEC街歩き第1弾は、10/26 木 午後 HMN協議会総会前を予定しています。
8月半ばに連合会から、講話・街歩き・総会のご案内が届くと思います。

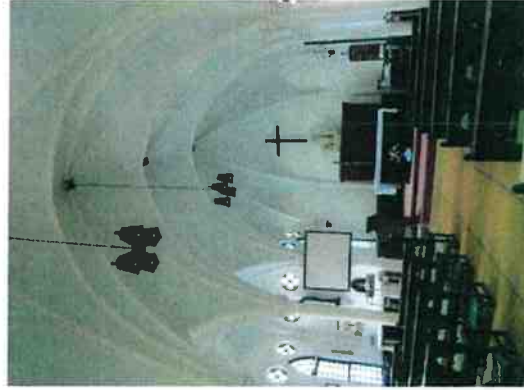
よろしくお願いいたします。

=====
塩見 寛 SHIOMI, Kan
静岡県ヘリテージセンターSHEC センター長
410-0831 静岡県沼津市市場町12-1-601
omikan@cy.tnc.ne.jp 090-7910-6543
<http://aml-ebook.com/chisanamachi/>
=====

建築士会全国大会しずおか大会 SHEC 街歩き 第2弾 ～カトリック清水教会～しみず道：蔵蔵めぐり～次郎長通り・次郎長生家～

静岡鉄道・新静岡→電車 20分 330円 →桜橋駅→歩いて 10分 →カトリック清水教会 9:30～10:30 →しみず道：伊豆石蔵・土蔵・レンガ蔵→次郎長生家 11:15～12:15

2023年10月28日(土) 9:30 カトリック清水教会集合



カトリック清水教会

1935年に完成した木造平屋建て一部2階建て。内部はリブゾールト天井漆喰仕上げ、畳敷き。戦時中には負傷者を受け入れる救護所としても利用されるなど誕生から90年近く、街のシンボルとして地域とともに歩んできた。しかし10年ほど前から耐震問題が浮上、建替えること。一方で保存運動の結果、「一旦解体し、部材を移築して復元する方法」を選択。2023年12月から解体作業に入る。

しみず道

東海道江尻宿と清水湊を結んでいた「しみず道」。この道沿いに伊豆石蔵、土蔵、レンガ蔵が存在する。その一つ一つに特徴があり、清水の街の歴史を物語る。

次郎長生家

江戸時代は任侠の親分、明治維新後は地域に貢献した社会事業家清水次郎長が生まれた家。間口2間半、奥行13間半の町家建築。江戸時代末期に建てられた町家は老朽化に伴う損傷が著しく、耐震改修・修復工事を2017年に実施した。SE構法門型フレームの採用、石場立て工法の継承、半間幅から1間幅の通り土間へ原形復元、清水の地場産業を物語る清水瓦の活用など行った。

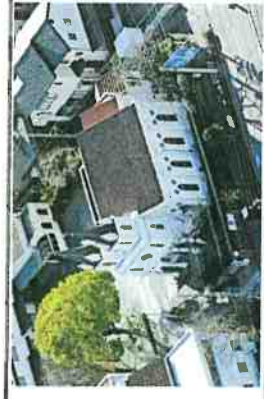
◆ 参加費 500円(資料代等。当日徴収いたします)

◆ 申込み ①氏名、②所属建築士会、③連絡先(電話等)を記入の上、主催者あてEメールでお申し込みください。

◆ 主催 静岡県ヘリテージセンターSHEC Eメール honkai@shizu-shikai.com

◆ 案内 一般社団法人カトリック清水教会聖堂を活かす会・NPO 法人次郎長生家を活かすまちづくりの会

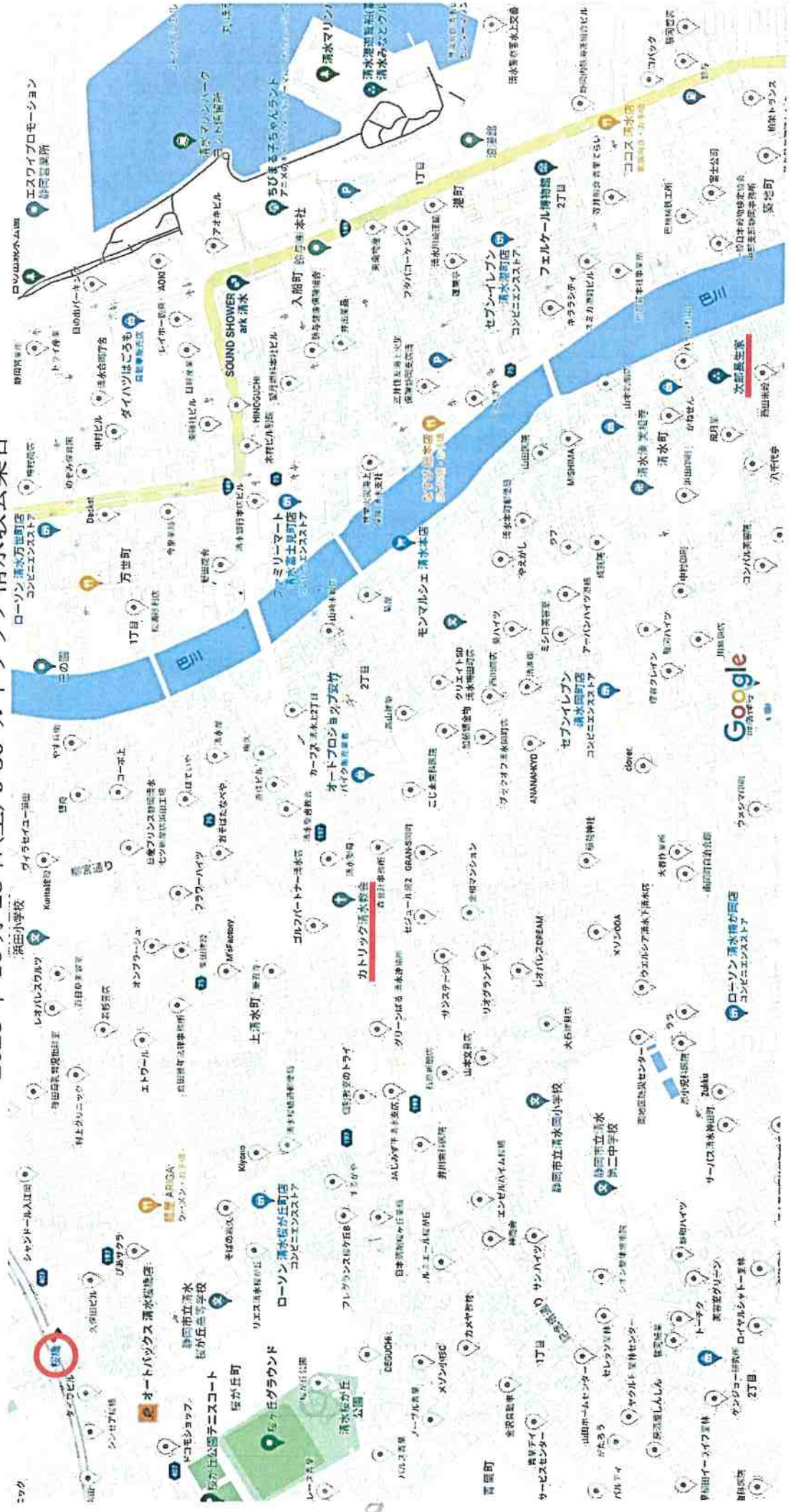
◆ 問合せ 公益社団法人静岡県建築士会 TEL 054-254-9381 当日連絡先 090-7910-6543(塩見)



建築士会全国大会しずおか大会 SHEC 街歩き 第2弾 ～カトリック清水教会～しみず道：蔵蔵めぐり～次郎長通り・次郎長生家～

静岡鉄道・新静岡 → 電車 20分 330円 → 桜橋駅 → 歩いて 10分 → カトリック清水教会 9:30～10:30 → しみず道：伊豆石蔵・土蔵・レンガ蔵 → 次郎長生家 11:15～12:15

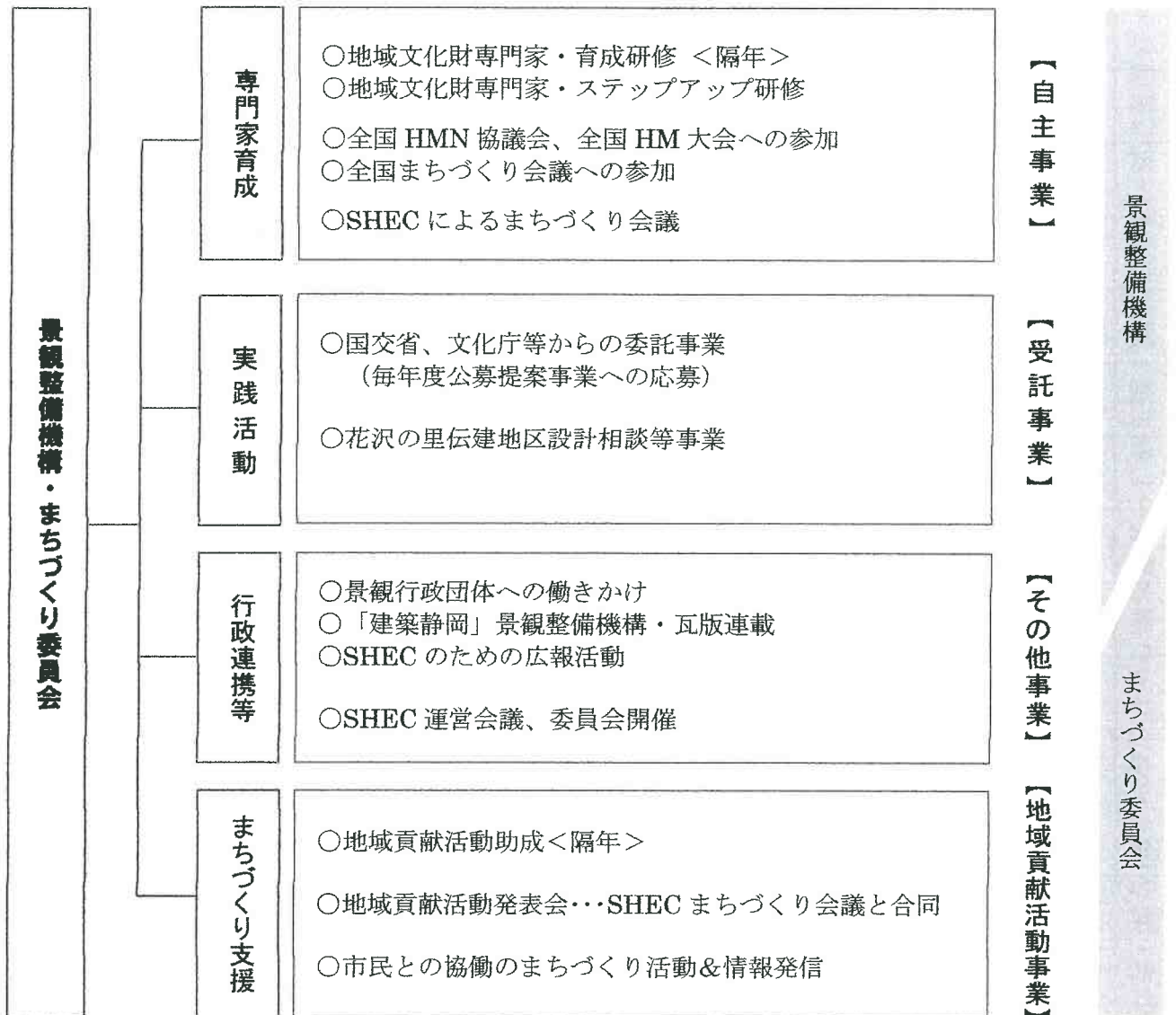
2023年10月28日(土) 9:30 カトリック清水教会集合



主催：静岡県ヘリテージセンター-SHEC / 案内：一般社団法人カトリック清水教会聖堂を活かす会・NPO 法人次郎長生家を活かすまちづくりの会

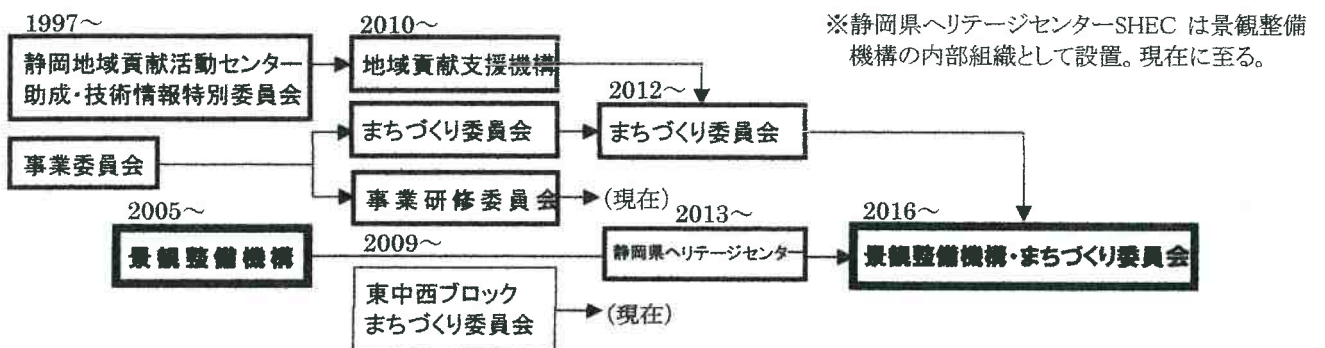
公益社団法人静岡県建築士会
 景観整備機構・まちづくり委員会

活動の体系



- * 景観整備機構予算と、まちづくり委員会予算は別々に計上すること
- * 景観整備機構 3 名、まちづくり委員会 3 名、委員長 1 名の計 7 名で構成

組織体制の経緯



※東中西ブロックまちづくり委員会は、組織的にも予算的にも独立して活動するが、内容によっては景観整備機構・まちづくり委員会と連携し活動する。

景観整備機構・まちづくり委員会の活動

事業名	事業概要
【自主事業】	
①地域文化財専門家・育成研修 地域文化財サポーター養成講座	<p>これまで H20,21,22,23,24,26,29,R1 実施し、修了生 166 名。 ただし、H29:14名、R1:11名で、今後募集しても応募が見込めないと思われるため、 当分の間、専門家研修及びサポーター養成は休止としたい。 ステップアップ研修を充実させたいと考えている。</p>
②地域文化財専門家・ステップアップ研修	<p>ステップアップ研修1回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師による研修。R5年8月頃。受講料で実施。 ・受講料 会員 3,000 円×15 名 45,000 円
③静岡県ヘリテージセンターSHECの運営	<p>●H25年9月に設立された静岡県ヘリテージセンター、歴史的建造物の維持保全・活用のため、建築士・職人・行政等のネットワークを構築し、東・中・西ブロックに窓口を設置し対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 年1回×(10-4)名×3,800円:交通費 22,800 円 ●建築士会全国大会に合わせて開催される全国ヘリテージマネジャー大会に参加する。本会は全国の先導的役割を担っており、全国と交流し情報交換することにより、活動を高めていく。また、災害時における東海北陸ブロックとの連携を図る。 ・第10回全国ヘリテージマネジャー大会(静岡市 10/13,14)参加 7名(景観整備まちづくり委員)×3,800円×2日 53,200 円 ●東海北陸ブロック・ヘリテージマネジャーネットワーク協議会は、歴史的建造物の保全・活用を推進するため、相互協力し広域的な組織間連携により活動し、毎年度7県が集まり、研修し、情報交換し、HMの資質の向上を図っている。 R4年度は、公益信託歴史環境基金の助成事業「広域連携の強化・充実」の助成金により4名参加(福井開催・9/24) ・R5東海北陸ブロックHMN協議会(富山市 9/29,30)参加 2名×(17,700円×2(交通費)+6,000円(宿泊費)) 82,800 円
④SHECによるまちづくり会議	<p>SHEC 構成員、建築士、職人及び行政職員を対象に、歴史まちづくり、景観まちづくりの推進を図るため、町並みまち歩き、まちづくり講演、SHEC の活動報告、意見交換等を開催する。2月頃に1箇所で開催する。</p> <p>会場費 10,000 円、交通費 3,800 円×委員 7 名、資料印刷 6,000 円 講師謝金 22,000 円、講師交通費 20,000 円 イベント保険 80 人×50 円=4,000 円 88,600 円</p>
【受託事業】	(無し)

【その他の事業】	
①『静岡県の建築と町並み』（仮称）の編集・出版	<p>（継続）R5 過去10年間の調査記念誌として編集・出版する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3, R4, R5 の3ヶ年計画。R5年度に出版。 ・R5年度…編集会議6回開催（月1回・4～9月） <ul style="list-style-type: none"> 委員交通費…委員会開催と同日に行う為 0円 外部委員3名 交通費4,660円×9回 41,940円 報償費5,000円×3名×6回 90,000円 打合せ資料コピー等 16,320円 <p style="text-align: right;">148,260円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度…印刷・製本+デザイン制作料（R4年度で支払済の為） <p style="text-align: right;">0円</p>
②静岡県版気候風土適応住宅基準（告示786号2項）策定事業	<p>＜新規＞詳細は別紙</p> <p>R4.6.17に公布された「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」により2025年から全ての新築建築物に対して省エネ基準の適合が義務付けられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会の設置 行政+建築士 計4回 ・講習会の開催 講師4名 ・講師謝金（京都、福岡、東京、静岡）4名 ・講習会会場費、資料作成費 <p style="text-align: right;">99,000円</p>
③景観行政団体への働きかけ	<p>主要な10市×1/2（1日2市）×2名×1,500円</p> <p style="text-align: right;">15,000円</p> <p>景観行政団体：静岡、浜松、下田、熱海、伊東、三島、沼津、裾野、御殿場、伊豆の国、伊豆、富士、富士宮、島田、牧之原、掛川、袋井、磐田、湖西の各市</p>
④SHECのための広報活動	<p>H30年文化財保護法改正により、文化財の保存活用の相談や調査研究をする民間団体を市町が「文化財保存活用支援団体」として指定できるようになった。SHEC（静岡県ヘリテージセンター）は市町に対して活動や中身を広報するとともに、支援団体の指定を働きかけていく。③と同時に働きかける。</p> <p style="text-align: right;">0円</p>
⑤「建築静岡」景観整備機構・瓦版連載	<p>毎号1頁。R4年秋号で第100回。</p>
⑥景観整備機構・まちづくり委員会	<p>6回開催（6,8,10,12,1,3月）9名×（3,800円）×3回</p> <p style="text-align: right;">102,600円</p> <p>6回のうち3回はZOOM会議とする。</p>
⑦全国まちづくり委員長会議	<p>士会連合会主催の全国まちづくり会議&全国まちづくり委員長会議への出席</p> <p>1名×（20,000円（交通費：連合会半額支給）+6,000円（宿泊費））</p> <p style="text-align: right;">16,000円</p>
【地域貢献活動事業】	
① 地域貢献活動助成	<p>隔年で実施。R2はコロナ禍で実施せず。R3は募集したが、応募0。R4は応募1だったが途中で取下げ願ひ。R5は応募要項を見直し。募集はしない。</p> <p style="text-align: right;">0円</p>
② 地域貢献活動発表会	<p>（開催しない）</p> <p style="text-align: right;">0円</p>

* 事業概要欄には事業の目的、内容、実施時期、実施場所、参加者予定数及び事業の実施による効果等を記入すること。

SHECまちづくり会議

建築家 中村與資平と静岡市庁舎 & 家康が計画した駿府城下町は現代に受け継がれたか

令和5年10月26日～28日、全国大会しずおか大会が開催されます。大会前日26日は、全国ヘリテージマネジャー協議会総会&街歩き、まちづくり賞公開審査が実施され、大会当日27日には、まちづくり専門部会ごとにまちづくりセッションが開催されます。建築士会の全国大会は、まちづくり関連の事業で占められると言っても過言ではありません。

このようなことから、大会前日に開催が予定されている全国ヘリテージマネジャー協議会総会&街歩きの予行演習として、講話及び街歩きを実施するとともに、先日グランドオープンした静岡市歴史博物館(設計：SANAA)を内覧したいと思います。

- ・日 時 令和5年4月8日(土) 13:30～17:00
- ・場 所 ペガサート 6F プレゼンルーム

・スケジュール

13:30 開会・挨拶

13:35 講話(1)「建築家 中村與資平と静岡市庁舎」

土屋和男 常葉大学教授・静岡県文化財保護審議会委員 博士(学術)

14:20 講話(2)「家康が計画した駿府城下町は、いかにして現代に受け継がれたか」

塩見寛 景観整備機構・まちづくり委員会委員長 博士(工学)

15:05 休憩

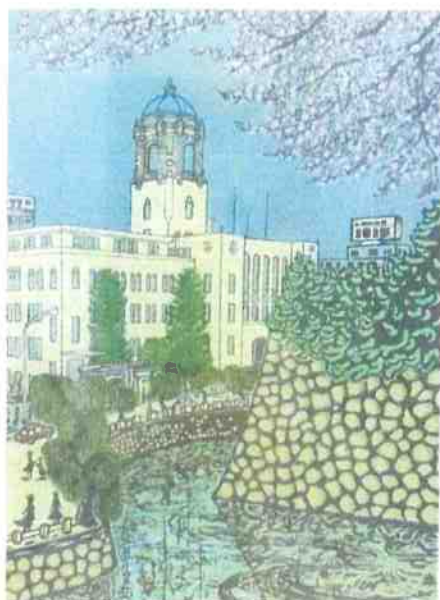
15:15 街歩き

静岡市庁舎(S9)→(県庁舎(S12))→札之辻→道路元標→七間町→ARTIE(2020.2)→
旧東海道→人宿町マート(2022.10)→矢澤煉瓦蔵(M)→青葉通り→呉服町通り→
防火建築帯(1956)→静岡市歴史博物館(2022.7)→

16:30 静岡市歴史博物館 内覧(開館は18時まで)

17:00 終了

- ・参加無料 ただし、静岡市歴史博物館の有料展示をご覧になりたい方は、各自負担とします。
- ・参加申込 裏面参加申込書を3月31日(金)までに本会事務局まで送付してください。
- ・連絡先 本会事務局
- ・主 催 (公社)静岡県建築士会 景観整備機構・まちづくり委員会



『静岡県 建築と町並み』 B5版 136頁

2023年10月25日発行

目次

静岡県全域地図	4
静岡県の風土・景観・建築	6
1 恵まれた自然・穏やかな気候	10
2 山・川・海と生きる	18
コラム 災害と町並み	30
3 富士山と建築	32
4 火事への備え	38
コラム 火の見櫓	
5 東海道：江戸と京の間	46
6 今川と徳川	52
7 遠州の名刹と神社	58
コラム 建築彫刻	66
8 報徳と近代化	68
9 近代のかたち	74
10 さまざまな学び	82
コラム 別荘地・興津と坐漁荘	88
11 理想の田舎	90
12 温泉とリゾート	98
13 産業と工場	104
コラム 多様性と豊かさが文化芸術の 理解を深め未来を創造する	110
14 現代と未来	112
地域マップ	130
掲載作品索引	133



国指定国宝建造物	国 宝
国指定重要文化財建造物	重 文
国指定特別史跡	国 特 史
国指定史跡	国 史 跡
国指定名勝	国 名 勝
重要伝統的建造物群保存地区	重 伝 統
国登録有形文化財建造物	登 録
県指定文化財建造物	県 指 定
市指定文化財建造物	市 指 定
町指定文化財建造物	町 指 定

編集を終えて

2021年10月に編集会議を組織してから2年、136頁の本『静岡県の建築と町並み』が完成した。静岡県のどこに、どのような優れた建築や町並みが存在しているか、それを1冊の書物として手に取って把握できるものになりたい、これが本書を編む第一の目的であった。

しかし、地域ごとに分けて建築や町並みを紹介するのでは、ただ単に建築物の羅列になってしまい、静岡県らしさを感じることはできない。自然に恵まれ、歴史に培われた多様な地域である静岡県には、多様な建築や町並みが存在しているはずだ。そのことの全体像をまず一目で理解できて、頁をめくるとさらに深く知ることができるようにしたい。このようなことから静岡県を把握できる14のテーマを設定、テーマごとに建築と町並みを拾い上げることで、静岡県の特徴が浮かびあがったと思う。

116の建築(5つの橋梁を含む)と11の町並みを掲載することができた。実に多様な建築と町並みが県全域に存在していることがわかった。静岡県の建築や町並みを紹介する数ある本の中で、他にはない、出色のものができたと自負しているのではないかと思っている。

思い返すと45年前、47都道府県の中から1つ、ここだと思って静岡県を選んだことに間違いはなかった。この場所を住み続ける場所として覚悟して来たのだった。静岡県の多様なおもしろさは、予想通りだった。そして初めて見るもの、初めて感じる場所、それらに出会うことを重ねていった。その愉しさは想像以上だった。45年間の出会いの旅は、一つ一つの物語を紡いできたように感じる。この本も静岡県で出会い、静岡県にしかない建築と町並みの一つ一つが物語として語りかけてくるようだ。そしてまた、さらなる物語を紡いでいく旅が今、新たにはじまったのである。

最後になってしまったが、掲載のご許可をいただいた所有者の皆様、ご教示をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。また、デザイナーの仕事を超えて活躍してくれた利根川初美さんにも深謝します。

公益社団法人静岡県建築士会 景観整備機構・まちづくり委員会

委員長 塩見 寛

静岡県の建築と町並み

2023年10月25日 第一刷

編著 塩見 寛 土屋和男 新妻淳子 脇坂圭一

発行 公益社団法人静岡県建築士会 飯尾清三

〒420-0033 静岡市葵区昭和町9-5-7F

TEL 054-254-9381

印刷・製本 ナガハシ印刷株式会社

2023年9月28日

各位

静岡県気候風土適応住宅・建築環境 WG のアンケート協力をお願い（依頼）

（公社）静岡県建築士会景観整備機構まちづくり委員会
担当理事 倉田 裕司

平素より弊社に格別のご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。
私共、（公社）静岡県建築士会景観整備機構まちづくり委員会では、表題のワーキンググループを立ち上げ、静岡県らしい気候風土適応住宅のありかたを検討しております。
そこで今回、気候風土適応を建築士自身がどうとらえているのか、建築士の住まい・住まい方に着目したアンケートを実施することといたしました。今後の静岡県下での脱炭素に向けた建築・住宅の方向性の検討に活用する根拠資料とするためにも、静岡県下及び県外の相当数の回答を得ることが求められます。
誠に勝手なお願いではございますが、主旨をお汲み取りの上、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

○アンケート調査 実施概要

- ・構成：【①概要版】(所要時間 10 分)と【②詳細版】(所要時間 20 分)の2つから構成。
- ・回収方法： A: 回答用紙を FAX 送信(静岡県建築士会本会事務局宛)
B: QRコードでの web 回答 (google_forms に直接回答)、の 2 方法を用意。
- ・対象者： 建築士資格を所有する方とし、以下の属性によって解答分類する。
1 全国大会の参加者(県外 ver.) 2 静岡県建築士会会員(静岡県 ver.)
- ・回答開始時期： 全国大会での用紙配布(2023年10月25~27日)
静岡県建築士会の広報資料送付(11月上旬)
- ・回答回収〆切： 2023年11月16日
- ・回収想定数： 静岡県下各地から 200、静岡県外から 200、合計 400 を目指す。

○アンケート回答上の注意

- ・【①概要版】と【②詳細版】の両方の回答を基本としています。
- ・全項目にわたって、落としなく回答書き込みをお願いします。
- ・書き込み用紙に直接書く場合は、黒や青のボールペン・サインペン等で濃く書いて下さい。
□は、該当するものは■にし、()には、該当する書き込みをいれてください。
- ・【①概要版】と【②詳細版】の回答者一致のため、自分で決めた数字 5 桁を※印 2 か所に必ず書いて頂きます。(例: 建築士登録番号等)

問合せ窓口：（公社）静岡県建築士会景観整備機構まちづくり委員会
担当理事 倉田 裕司 電話 054-254-9381

これだけはお願ひ!

2023 静岡県気候風土適応住宅検討アンケート調査(1概要版)

【①概要版】

(公社)静岡県建築士会景観整備機構まちづくり委員会

お申込み後、提出は A か B で。
A 054-273-0478へ両面 FAX
B QRコードから web 回答



回答対象: 建築士資格を所有する方。(回答想定所要時間: 10分程度)
回答方法: 書き込みは黒や青のボールペン・サインペン等で濃く書いて下さい。
□は、該当するものは■にし、()には、該当する書き込みをいれてください。

- 属性 性別:(□男・□女)、 住宅居住人数:合計 ()人
年代:(□10代□20代□30代□40代□50代□60代□70代□80代以上)
あなたのお住まいの所在地 ()都道府県 ()市 ()区 旧()市・町 ()支部・地区
所属建築士会? ()建築士会()
- あなたのご家族の住宅建物について(概要)
用途分類:□戸建専用住宅 □併用住宅 □集合住宅
構造:□木造 □鉄骨造 □RC造 □混構造 □建物階数:()階
建設年次:()年 延床面積:()㎡
竣工時の開口部(外窓)仕様
建具枠(□鉄 □アルミ □アルミ+樹脂 □樹脂 □木製 □その他)
ガラス(□単板、□複層、□複層Low-E □三層 □その他)
竣工時の断熱性能 竣工時の断熱性能
屋根断熱:□断熱無し □断熱有、断熱材()厚()
外壁断熱:□断熱無し □断熱有、断熱材()厚()
- あなたのお住まいの方、過ごし方について
右の5つのうち、該当するものに○をつけてください。

	+2	+1	0	-1	-2
① 日常生活空間の縮小を意識していますか。(利用室を絞る等)	とてもしている。	少ししている。	どちらでもない。	少ししない。	とてもしない。
② 季節に応じた、建具を入替えますか。					
③ 季節に応じて、打水等の生活習慣がありますか。					
④ 夏期の薄着等、夏に住宅内で衣類着脱の工夫を行いますか。					
⑤ 冬期の厚着等、冬に住宅内で衣類着脱の工夫を行いますか。					
⑥ 局所的な採暖器具を利用しますか。(囲炉裏、炬燵など)					
⑦ すだれ、よしずを利用しますか。					
⑧ 雪囲いを利用しますか。					

【アンケート書き込み情報の取扱い(重要事項)】 ご記入頂いた書き込み情報は、上記の利用目的のみに使用し、このアンケート集計・分析を学術的に行う研究機関に情報提供する以外に、第三者に提供することはありません。

●お住まいの部位について

ご自宅の該当する項目を全部、■にしてください。(同じ内容について複数回答可)

観点	区分	要素の例
1) 様式・形態・空間構成	内部・空間	□繞き間 □縁側 □土縁 □玄関(風除室) □高天井 □吹抜
	内部・建具	□引戸形式の建具 □欄間
	内外境界部	(屋根・軒) □0.9m以上の軒 □越屋根
	内外境界部	(開口部) □大窓(掃出、連窓、引込形式等) □地窓 □高窓 □天窓
	外部	□外部床(照り返しを抑制する素材) □中庭・坪庭 □屋敷林
2) 構造	【構造部分】	□無垢製材の使用 □断面が大きな構造材の使用 □部材現し(軸組、床組、垂木、小屋組等)
	軸組/耐震要素	□貫・差構居の軸組 □土塗壁 □板壁(落とし込み壁等) □土塗り壁以外で外壁両側真壁 □丸太組構法 □開放的な床下(石場建、足固め等)
小屋根/軒構法		□和小屋根(多重梁) □さす構造、垂木構造、登り梁 □せかい造り、はね木(出し梁) □面戸板現し
	接合方式	□金物類の非使用 □手刻みによる加工 □伝統的な継手仕口
【非構造部分(外部)】	屋根	□瓦屋根 □茅葺き屋根 □板葺き、樹皮葺き □荒板による屋根野地 □屋根根通気ブロック
	外壁	□板張り壁 □樹皮張り □雁木 □高基礎壁 □花ブロック
開口部		□木製建具(地元で製作) □下地窓、無双窓 □雨戸 □紙障子 □格子
	非構造部分(内部)内壁・内天井・内床	□漆喰(漆喰壁等) □板張り壁 □竿縁天井、網代天井、簀子天井 □伝統的な土間(三和土) □畳(縮むら畳床) □床板張り上げ □床板張上のうち、下地板を用いず単層床板張りとしたもの
建材等		□自然材料系断熱材 □調湿材 □古色塗、漆塗りなど
	地域材料の使用	□地域産の木材の使用 □地域産の自然素材の使用 □地域で生産される建材の使用
料・生産体制	地域に根ざした生産・維持管理の体制	□技術の伝承 □地域の住宅生産者が主導する体制 □地域の木工・建築職人の登用 □宮大工 □地域の工務店 □ハウスメーカー □パワービルダー
	景観の維持・形成	□地域に根ざす建物形態・材料の使用 □周囲と調和・連担した外構、緑化計画
観成	緑・生態系の維持	□地域の植生を活用した緑化 □緑の連担による生物の消息環境の保全

(一社)日本サステナブル建築協会 気候風土適応住宅の構築(2021)「気候風土に合わせた住宅に普及づけられる要素の例」の一部項目加算
https://www.jisbc.or.jp/document/files/house_kikou_kaisetsu.pdf

【①概要版】は以上です。ご回答ありがとうございます。裏面の【②詳細版】にお答え頂くと、アンケート集計結果(詳細版)を提供できます。①②の回答者一致のため、ご自分で決めた数字6桁を※印2か所に必ず書いてください。(例:建築士登録番号等)

※自分の番号(6桁数字)					
--------------	--	--	--	--	--

できればこちらも！

2023 静岡県気候風土適応住宅検討アンケート調査(2 詳細版)

【2 詳細版】

(公社)静岡県建築士会景観整備機構まちづくり委員会

書込み提出は、A か B で。
A 054-273-0478へ 両面 FAX
B QRコードから web 回答



対象者:【①概要版】の回答者(回答想定所要時間:20分程度) ※自分の番号(6桁数字)
本回答に【①概要版】共通の番号(数字6桁)をご自分で決めて書込み、お忘れなくお控え下さい。事後、ご要望頂いた方には、アンケート集計結果(詳細版)を提供できます。

●あなたとご家族の住宅の住宅設備

- Q2-1 お住まいの空調方式を選んでください。
 全館空調 個別冷暖房(冷暖房) 床暖房 薪ストーブ その他
- Q2-2 個別の場合は、エアコンのある部屋と室内機全設置台数を教えてください。
 リビング ダイニング キッチン 寝室 室内機全部で()台
- Q2-3 主な空調設備を利用する月を記載してください。
冷房:()月 上旬 中旬 下旬 ~ ()月 上旬 中旬 下旬
暖房:()月 上旬 中旬 下旬 ~ ()月 上旬 中旬 下旬
- Q2-4 平日と休日別に、主な空調設備を使う室と時間帯を記載してください。
例: 居間 6:30~8:00, 19:00~24:00
平日(居間) : ~ : : : ~ : : 寝室 : ~ : : ~ : :
休日(居間) : ~ : : : ~ : : 寝室 : ~ : : ~ : :
- Q2-5 利用している照明設備のランプを選んでください。(複数回答可)
 LED 蛍光灯 白熱灯 その他()
また、全体のうち、LEDは約何割ですか。全体のLED割合()割
- Q2-6 給湯器の熱源を選んでください。
 都市ガス LPガス 太陽熱 その他()
- Q2-7 ご自宅に次のものがある場合にはチェックし、空欄を埋めてください。
 ガス給湯器(エコジョーズ) ヒートポンプ給湯機(エコキュート)
 電気HPガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機) BEMS
 家庭用燃料電池(エネファーム) 電気自動車(蓄電池利用できる)
 太陽光発電()kw 蓄電池()kwh 発電機()kVA

●あなたの住まい方について(窓開け、通風)
Q3-1 下記の室の窓開けについて、季節ごとに「開放面積/対象室の全開口面積」の割合を入れてください。

例) 0割:完全に閉鎖。1割:風通しに少し開放。5割:全開口部のいくつかを全開。10割:全開口部の全部を全開。

	在室時 (空調 時)	不在時 (非空調 時)	在室時 (空調 時)	不在時 (非空調 時)
① 居間	春 ()割 夏 ()割	春 ()割 夏 ()割	秋 ()割 冬 ()割	秋 ()割 冬 ()割
② 寝室	春 ()割 夏 ()割	春 ()割 夏 ()割	秋 ()割 冬 ()割	秋 ()割 冬 ()割
③ 他	春 ()割 夏 ()割	春 ()割 夏 ()割	秋 ()割 冬 ()割	秋 ()割 冬 ()割
全体	春 ()割 夏 ()割	春 ()割 夏 ()割	秋 ()割 冬 ()割	秋 ()割 冬 ()割

●あなたとご家族の住宅建物 (詳細)一部重複がありますが、重ねてお答え下さい。

- Q1-1 お住まい場所の都市計画区域・用途地域、法定建築率、法定容積率
 市街化調整区域 / 市街化区域 (用途地域: 住居系 商業系 工業系)
法定建築率()%、法定容積率()%
- Q1-2 用途分類: 戸建専用住宅 併用住宅 集合住宅
- Q1-3 構造: 木造(伝統工法)、 木造(在来軸組工法)、 木造(枠組壁工法)
 軽量鉄骨造 重量鉄骨造 RC造 混構造 その他()
- Q1-4 建物階数: 全体()階 階建のうち、寝室階()階
- Q1-5 建設年次: 昭和 平成 令和 西暦()年
- Q1-6 延床面積:()㎡ 又は()坪
住戸の室構成: 室数()+OL+OD+OK+OS
- Q1-7 基礎構造: 石場建、東石等 布基礎(内部土間) 布基礎(内部コン押え)
 ベタ基礎 その他()
- Q1-8 竣工時の外装・開口部(外窓)仕様
 屋根: 下地()+仕上()
屋根断熱: 不明 断熱無 断熱有(外断熱 充填断熱 内断熱)厚()
 外壁: 下地()+仕上()
外壁断熱: 不明 断熱無 断熱有(外断熱 充填断熱 内断熱)厚()
 1階一般床下断熱: 不明 断熱無 床下断熱 基礎断熱)厚()
 基礎断熱 玄関、浴室等土間部分:()厚()
 建具枠 (鉄 アルミ アルミ+樹脂 樹脂 木製 木製)
 ガラス (単板、 複層、 複層 Low-E 三層 その他)
- Q1-9 竣工後の温熱改修 竣工後、住宅の断熱性能が変わる改修はしましたか。
 有。()年ごろ 断熱性能が変わる改修工事例: 外壁張替・屋根吹替・断熱材の増量・窓サッシの断熱化(2重サッシ、外窓に障子等)
 無。 不明。
- Q1-10 お住まいの現在の環境性能が分かれば、記載してください。
UA値()ηAC値() BEI(再エネ無、再エネ有))GJ/年
設計一次エネ消費量()GJ/年 基準一次エネ消費量()GJ/年

【アンケート書込み情報の取扱い注意事項】ご記入頂いた書込み情報は、上記の利用目的のみに使用し、このアンケート集計・分析を学術的に行う研究機関に情報提供される以外に、第三者に提供することはありません。

~ご丁寧なご回答、誠にありがとうございました。

愛知建築士会 まちづくり委員会報告

1. 地域まちづくり部会

R6.2.18 まち歩きとセミナー予定

2. 福祉部会

R5.5.11 セミナー「なぜ認知症の人は家に帰りたがるのか」恩蔵絢子氏

3. 風土適応部会

R5.7.19 研修会とシンポジウム

省工券通合除外

4. 防災空家部会

R5.9.18 ぼうさいこくたい（神奈川）参加

R5.11.11 あいち防災フェスタ 出展

R5.11.30 水害対策マニュアル勉強会

5. 歴史景観

ヘリテージレベルアップ講座 企画中

6. 都市木

検+県不連

非住宅木造建築技術者育成講習（全9回） 400

中大規模木造サポートセンター 140

非住宅木造建築 設計実証・建築実証 総予算5000

7. バリアフリー特別

バリアフリーアドバイザー講習会（R5.9.5 9.22）

公益社団法人愛知建築士会／まちづくり委員会福祉部会
第52回建築総合展／会場セミナー



恩蔵 絢子氏 Onzo Ayako
脳科学者

2007年東京工業大学大学院総合理工学研究所知能システム科学専攻博士後期課程修了(学術博士)。東京工業大学大学院で脳科学者の茂木健一郎氏の研究室に入る。現在、金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学非常勤講師
15年に同居する母親がアルツハイマー認知症と診断され、以来、娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で、母を脳科学者として客観的に分析することで、医者／患者、科学者／被験者という立場で研究するのは違った認知症の理解を持つにいたり、情報発信をしている。
(2023年1月7日 NHKスペシャルにて「認知症の母と脳科学者の私」として、母とのドキュメンタリーが放送された)
著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、共著に「なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか」(中央法規)がある。

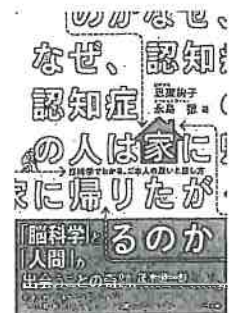
2023.5.11 (木)
13:30 ~ 15:00 (13:00 開場)

会場 ウィンクあいち 11階 1103号室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 ※建築総合展会場内
講師 恩蔵絢子(おんぞうあやこ)氏 脳科学者
定員 40名
参加費 愛知建築士会会員(洋会員・特別会員・賛助会員含む)
会員(専攻建築士):1000円 会員:1100円
一般(専攻建築士):1400円 一般:1500円
申込 下記フォームに必要事項をご記入の上
電子メールまたはファックスにてお申し込みください
締切 令和5年5月9日(火)(※定員40名になり次第締切)
主催 公益社団法人愛知建築士会／まちづくり委員会福祉部会
申込先 公益社団法人愛知建築士会／事務局
E-mail: mail@aichishikai.or.jp FAX: 052-201-3601
C P D 2単位(申請中)※事前申請:申込書で事前に申請してください

なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか

認知症の人の行動を知る

「なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか」の著者 脳科学者の恩蔵絢子氏をお迎えし、認知症の人の行動の理由を脳科学の視点で解説していただきます。
今後、家族の問題だけでなく、仕事でも認知症の人との関わりは避けて通れない問題です。脳科学から認知症の人の行動を理解することで、正しい対応の仕方を考える機会を提供します。



参加します

氏名 _____ ふりがな (_____)

いずれかに○印をつけてください

E-mail: _____ @ _____

() 会員(専攻建築士)

支部名 _____

() 会員

() 一般(専攻建築士)

CPD 番号 _____

() 一般

第8期 受講生募集



令和5年度文化庁 地域文化財総合活用推進事業

地域に残る歴史的建造物は、景観や歴史文化など地域らしさを特徴づける大切な要素として、また地域活力の向上に役立つ有効な資源として活用し保存されることが期待されています。地域に眠る歴史的建造物などの文化遺産を発見し、再評価し、適切な修理や維持管理を行いながら活用し、地域づくりに活かしていく人材が求められています。このような人材の育成を目的とし、建築士や歴史的建造物の保存活用を通じたまちづくりに関わりたい方等を対象に「あいちへリテージマネージャー養成講座」を開催します。

期間 (前期)

令和5年7月22日 (土) ~ 令和6年2月17日 (土)

全受講 (36時間)

15,000円

部分受講 (一般)

1,000円/1時間

部分受講 (ヘリテージマネージャー)

500円/1時間

詳しくは(公社)愛知建築士会HPをご覧ください <https://www.aichishikai.or.jp/>

主催 あいちヘリテージマネージャー養成講座実行委員会

お問い合わせ (公社)愛知建築士会 事務局

電話 052-201-2201

Eメール mail@aichishikai.or.jp

全受講必須

7/7 (土)

(必着)

R5年度あいちヘリテージマネージャー養成講座（前期）カリキュラム

【第8期】

日程	講義時間	時間数	全受講	部分受講	内容	講師	会場	
1	7月22日（土）	12:30~15:10	2.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ヘリテージマネージャー概論・役割と展望	後藤治	愛知建築士会	
		15:30~17:00			1.5	<input type="checkbox"/> 文化財保護法概説・登録文化財制度		県文化財室
2	8月5日（土）	12:30~15:10	2.5		<input type="checkbox"/> 文化財の利活用とマネジメント	村上裕道	愛知建築士会	
		15:30~17:00			1.5	<input type="checkbox"/> 歴史的建造物の保存技術		国立文化財機構 文化財防災センター
3	9月23日（土）	12:30~14:30	2.5		<input type="checkbox"/> 文化財建造物の活用とまちづくり	塩見寛	愛知建築士会	
		14:45~15:15			0.5	<input type="checkbox"/> 建築基準法と登録文化財について		県建築指導課
		15:30~17:00			1.5			小川芳範
4	10月7日（土）	12:30~15:10	2.5		<input type="checkbox"/> 意見具申書の書き方	市歴史まちづくり推進室 文化財保護室	榎木館	
		15:30~17:00			1.5			<input type="checkbox"/> 利活用解説
5	11月18日（土）	12:30~15:10	2.5		<input type="checkbox"/> 近代建築の見方	松隈洋	愛知建築士会	
		15:30~17:00			1.5	<input type="checkbox"/> 修復①		※JIAビデオ
6	12月9日（土）	13:00~17:00	4		<input type="checkbox"/> ※R4登録文化財	川原田郁	(名古屋市昭和区)	
					<input type="checkbox"/> 所有者 利活用解説	HM協議会 川口		
7	1月13日（土）	13:00~17:00	4		<input type="checkbox"/> ※H28登録文化財	中定商店・三井家	武豊町	
					<input type="checkbox"/> 所有者 利活用解説	HM協議会 川口		
8	2月3日（土）	12:30~15:10	2.5		<input type="checkbox"/> 文化財建造物と耐震補強	冨永善啓	愛知建築士会	
		15:30~17:00			1.5	<input type="checkbox"/> 修復②		※JIAビデオ
9	2月17日（土）	12:30~15:10	2.5		<input type="checkbox"/> 文化財と防災計画・防火対策	吉井裕二	愛知建築士会	
		15:30~17:00		1.5	<input type="checkbox"/> 修復③	※JIAビデオ		
計 36					<input type="checkbox"/> 希望講座に☑を入れてください。 ※講座日程が入れ替わる場合があります			

（特記事項）

- ヘリテージマネージャー認定希望者は、養成講座カリキュラム（前期）36時間のうち、32時間以上履修する必要があります。32時間未満の場合は前期講座修了となりません。録画の聴講等で履修のカバーをしてください。なお、講習会の開催地、講義、講演のテーマ及び講師については変更する場合があります。※ヘリテージマネージャーの認定は本講座（前期）と併せてR6年実施予定の講座（後期）を受講し、全60時間の履修が条件となります。
- 部分受講は可能ですが、ヘリテージマネージャーの認定はされません。個々のスキルアップに活用ください。
- 既にヘリテージマネージャーとして認定されている方は受講料が半額になります。但し更新せず有効期限が過ぎ失効している方は半額にはなりません。
- 「全受講 ヘリテージマネージャー養成コース（建築士限定）」を修了後、希望者は「あいちヘリテージマネージャー」に登録出来ます（要登録料）。
- 履修時間1時間あたり1単位のCPDが付与されます。（予定）

令和5年 月 日

R5年度あいちヘリテージマネージャー養成講座（前期）申込書

申込先	(公社)愛知建築士会事務局 mail@aichishikai.or.jp		
締切	全受講の場合	令和5年7月7日（必着）	部分受講の場合 各講義日の2週間前
フリガナ 氏名			
住所	〒		
Eメール			
連絡先（携帯など）			
所属・または会社名		CPD番号	
申込区分 ☑を入れてください			
<input type="checkbox"/> 全受講	ヘリテージマネージャー養成コース（建築士限定）	15,000円	
<input type="checkbox"/> 部分受講	一般（上のカリキュラムにも☑を入れてください）	合計時間数 <input type="text"/> × 1000円 = <input type="text"/>	※時間を入力すると金額が計算されます
<input type="checkbox"/> 部分受講	ヘリテージマネージャー登録者（同上）	合計時間数 <input type="text"/> × 500円 = <input type="text"/>	
☑を入れてください <input type="checkbox"/> 愛知建築士会会員 会員番号（ ） <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> ヘリテージマネージャー（登録番号）			
※申込者には後日、請求書をメールで送りますので振込をお願いします。			

本講座は文化庁「令和5年度地域文化財総合活用推進事業」に採択されています。

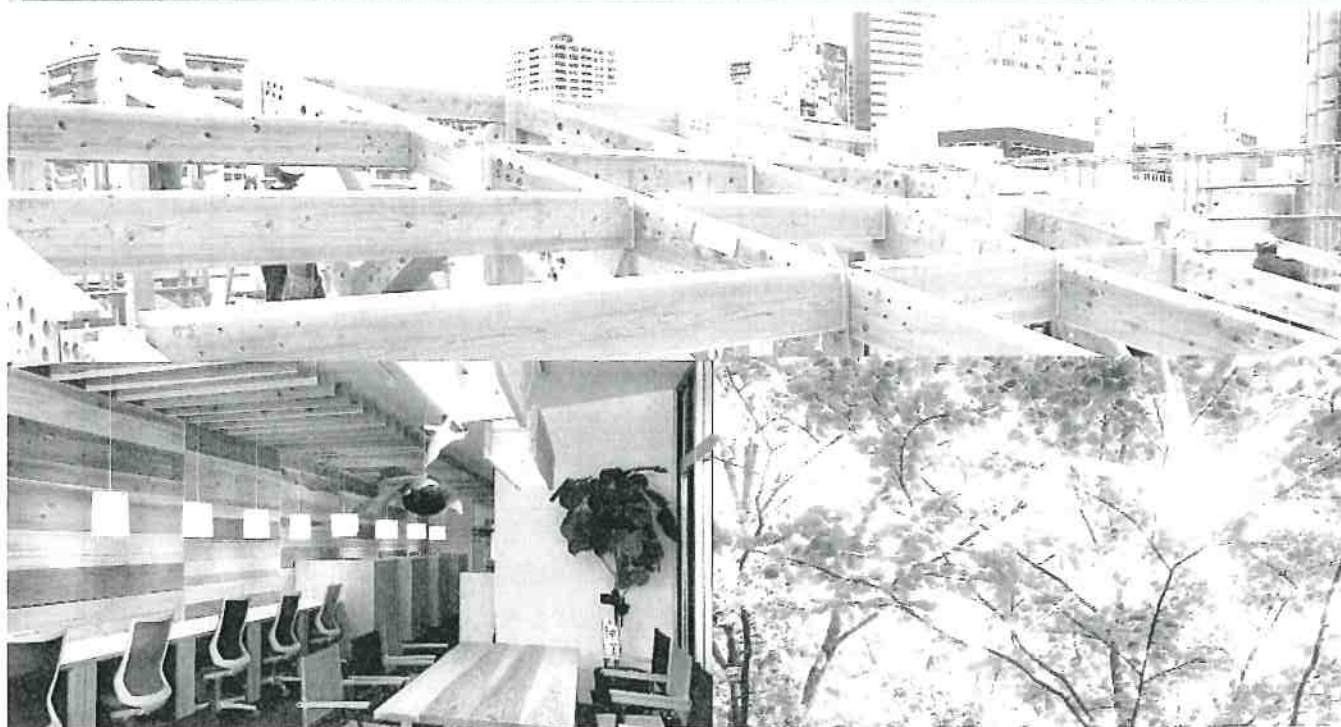
申込は、必要事項を記入の上データをメールで送ってください

mail@aichishikai.or.jp

主催 あいちヘリテージマネージャー養成講座実行委員会

お問い合わせ (公社)愛知建築士会 事務局 電話 052-201-2201 Eメール mail@aichishikai.or.jp

2023年度 非住宅木造建築技術者育成講習（実践編）募集要項



- 【日程】：2023年6月～2024年2月（全9回20講座+現地研修2日）
詳細は別紙カリキュラム表を参照してください。
- 【場所】：講座：（公社）愛知建築士会会議室（名古屋市中区栄2-10-19名古屋商工会議所ビル9階）
地下鉄東山線 伏見駅 徒歩5分
現地研修（見学会）：会場未定（詳細が決まり次第、HPにて公表します。）
- 【定員】：会場参加枠：40名 オンライン参加枠：制限なし
- 【受講料】：1回受講（1日：3講座）¥5,000円、第6回のみ¥6,000円（※有料講座：全6回）
全回受講 20,000円（協議会賛助会員）
全回受講 30,000円（協議会賛助会員以外）
※第1回、第4回（現地研修1）は、受講無料
第8回では会場で設計演習ワークショップを行います（全受講を希望する方のみの参加）
- 【申込先】：FAX：052-322-3376 担当：加藤（あいち協議会）
E-MAIL：toshimokuaichi@aimokuren.com
- 【CPD単位】：1日5単位（申請中）
- 【申込締切】：各回の講座日の2週間前までにお申込ください。
但し会場参加の場合は定員になり次第締切とさせていただきます。

主催 / 環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会（略称 あいち協議会）

企画・協力 / （公社）愛知建築士会

お問い合わせ / （公社）愛知建築士会 TEL 052-201-2201 E-Mail mail@aichishikai.or.jp

R5年度非住宅木造建築技術者育成講座（実践編）

回	日程	曜日	第1講座	第2講座	第3講座	会場
			10:00~11:30	12:30~14:00	14:15~15:45	
1	6月10日	土		坂口大史 日本福祉大学 准教授	久保 久志 (株)東畑建築事務所	名古屋木 材会館
				13:00~16:00		
				都市の木造建築のこれから		
				オープニング企画		
2	8月26日	土	辻 充孝 岐阜県立森林アカデミー 教授		実例検討 R4実証より	愛知建築 士会
			省エネ・温熱環境の留意点		木への置き換え	
			環境・省エネ		構造	
3	9月2日	土	久保 久志 (株)東畑建築事務所		実例検討 R4実証より	愛知建築 士会
			利用者協働型の木の施設づくりへの実現に向けて		木への置き換え	
			総論・計画		構造	
4	9月28日	木	(仮称) 国有林見学会 場所：岐阜県中津川市内 ※定員に限りがあります。 詳細は決まり次第、お知らせします。			国有林 見学会
5	10月21日	土	坂口大史 日本福祉大学 准教授		実例検討 グラストップ(株)	愛知建築 士会
			SDGsやESG投資に貢献する木造建築の実現		劣化防止策	
			総論・計画		木部のガラスコーティング	
6	11月11日	土	(仮称) 令和4年度 実証現場見学会 ※定員に限りがあります。 詳細は決まり次第、お知らせします。			事例 見学会
7	11月25日	土	山辺 豊彦 山辺構造設計事務所 代表		協議会 設計演習	愛知建築 士会
			中大規模木造建築物の設計事例		課題発表	
			構造			
8	12月16日	土			協議会 設計演習 ワークショップ	愛知建築 士会
9	1月20日	土	大倉 靖彦 (株)アルセッド建築研究 所 副代表	演習発表	大倉 靖彦 (株)アルセッド建築研究 所 副代表	愛知建築 士会
			中大規模木造建築の計 画・監理			
			計画・監理	講評	総評	

R5 木造非住宅建築物設計・建築実証事業のご案内

(愛知県委託事業)

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会

○事業の概要

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会（以下、「協議会」という。）では、非住宅建築物の木造・木質化の促進に向け、「あいち認証材」※1を利用した建築物の設計や建築を行い、コストや木材調達における課題、メリット等の実証を行う建築士や建築主に助成を行います。

※1：「あいち認証材」：愛知県内で産出されたことを、愛知県産材認証機構の認定事業者が証明した素材、製材品、木製品。



○実証の概要

実証区分		実証費		上限	実証方法
設計実証		木造設計の基本設計費相当の費用		600万円/件	主要構造部の50%以上にあいち認証材を利用した木造プランと非木造プランの比較を行います。
建築実証	構造材	あいち認証材の利用量に応じて	50,000円/m ²	900万円/件	あいち認証材を利用した建築物において木材調達や工期等のデータ収集、竣工後の施設利用者へのアンケートにより実証を行います。
	内外装材		3,000円/m ²		

・内外装の木質化は、木造化と一体的に木材を見える部分（現し仕上げ）に使用する場合に限る。

採択要件

【事業の対象物件】

区分	施設用途	規模要件
設計実証	店舗、医療施設、幼保学童施設、共同住宅、運動施設、倉庫等	延床面積200m ² 以上
	オフィス、老人福祉施設等	延床面積300m ² 以上※2
建築実証	店舗、幼保学童施設、運動施設、倉庫等	延床面積200m ² 以上
	オフィス、老人福祉施設等、医療施設、共同住宅	延床面積500m ² 以上

※2 令和5年8月1日から規模要件緩和。

- ・居併用の建築物は対象外とする。
- ・CLT等を活用する先導的な工法を用いた非住宅建築物、チェーン展開している業種業態において従来は非木造で規格化されている店舗を木造化する場合等には、延床面積に関わらず対象とする場合がある。

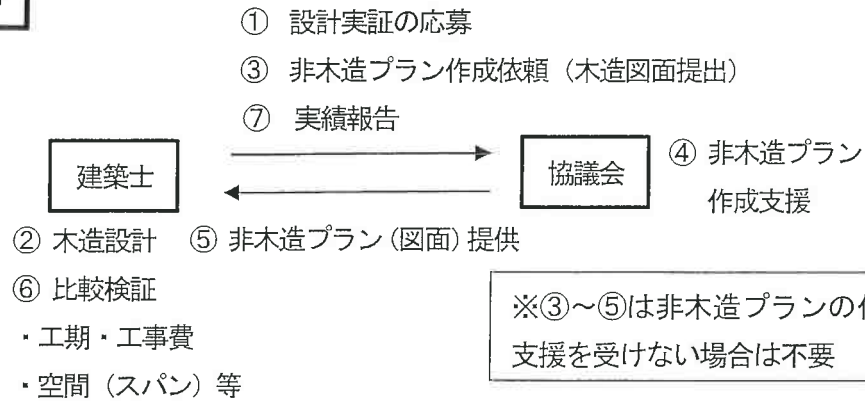
<設計実証>

- ▼応募者：対象物件を設計する建築士で、建築主の同意を得て実証を行う者。
- ▼対象物件：設計実証に係る実績報告が令和6年2月15日までに完了できるもの。
令和5年3月31日以前に建築確認済の物件は対象外
- ▼その他：非木造プランの作成にあたっては、木造図面を協議会に提出することにより、協議会から作成支援を得ることができます。（図面提供のみ。概算工事費の算出は応募者で実施。）
ただし、その場合は助成額が減額補正されます。詳しくは裏面をご確認ください。

<建築実証>

- ▼応募者：対象物件を県内で新築又は増改築等を行う建築主で、施工者の協力を得て実証を行う者。
- ▼対象物件：助成対象となる木工事部分が令和6年2月1日までに完了できるもの。応募時に当該対象部分の工事に着手しているもの又は完成しているものは対象外とします。
- ▼その他：令和5年度から令和7年度までの3年間、施設利用者等へ木造・木質化した当該施設に関するアンケートを行い、年度毎に取りまとめて翌年度の5月31日までに報告できるもの。

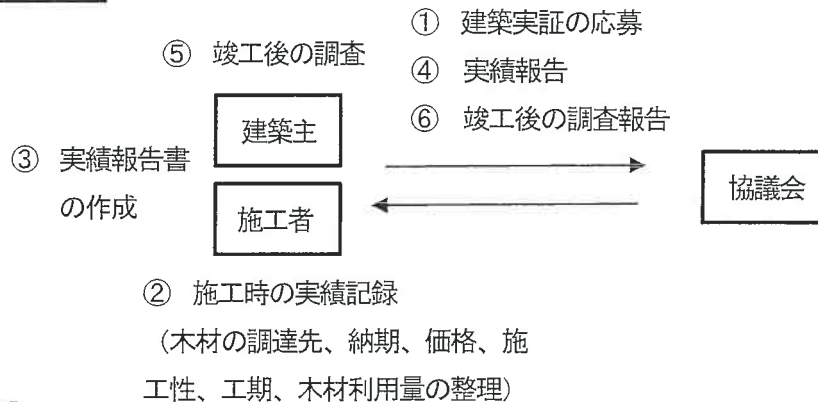
設計実証の内容



【設計実証の内容】

○あいち認証材を利用した木造設計と非木造プランを比較し、建築物の基礎や構造等にかかる費用、設計工期の差等について検証を行います。
 ○実績報告時に比較表、調査書（アンケート）、木造図面等の提出が必要です。

建築実証の内容



【建築実証の内容】

○あいち認証材を利用して木造・木質化を行う建築物において、あいち認証材をはじめとする木材に関する調査（調達先や納期、施工性、工期、価格等の実績調査）を行います。
 ○竣工後の3年間、施設の快適性等について施設利用者へ調査を行います。
 ○実績報告時に調査書（アンケート）、国産材の利用量が確認できる納品書の写し等の提出が必要です。
 ○竣工後の3年間、年度毎にとりまとめた利用状況報告書の提出が必要です。

実証に係る実証費の算定例

<設計実証：延床面積350㎡、設計監理業務請負契約額（実施設計・現場監理費等を含む）1,000万円の場合>

- ① 設計監理業務請負契約額の30% 1,000万円×0.3=300万円
- ② 基本設計費算出表（別表）による350㎡の基本設計料 281万円 ①②のいずれか低い方 281万円
- ③ 非木造プランの作成を協議会に依頼する場合は、算定額に0.7を乗じる 281万円×0.7=196万円

<建築実証：あいち認証材30㎡（柱、梁、羽柄材）、300㎡（床と壁の仕上げ）使用した場合>

$$30\text{㎡} \times 5\text{万円} + 300\text{㎡} \times 3\text{千円} = 150\text{万円} + 90\text{万円} = 240\text{万円}$$

※応募は順次受付、予算額に達し次第終了します。

同一物件で設計実証、建築実証の併用は可能ですが、「木の香る都市づくり事業」との併用はできません。

事業の詳細については、募集要領を御覧ください。

【申込・問合せ先】

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会

（担当：（公社）愛知建築士会）

〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19

TEL 052-201-2201 fax 052-201-3601

HP <https://www.aichishikai.or.jp/>

岐阜県建築士会 まちづくり委員会

2023年活動報告

1 歴史まちづくり部会（景観まちづくり部会）

2022年度に続き2023年度「岐阜県ヘリテリーマネージャー等人材育成講習会」を17回開催。
受講者数 24名 2022年度は、33名受講、全員がぎふヘリテリーマネージャーに登録。別紙参照
現在「ぎふヘリテリーマネージャー協議会」(GHMC) 設置準備中

2 福祉まちづくり部会

- ・4/3 第1回 部会 オンライン
- ・4/26 関市適正化事業業務 協定締結式 関市役所
- ・5/16 建築士の日 ラジオ収録 ぎふチャン
- ・5/16 第1回 福まち広場 オンライン
- ・6/12 県 高齢福祉課・建築指導課へ令和4年度の活動報告 県庁
- ・6/27 バリアフリー情報公開プロジェクト中間報告会 オンライン
- ・7/19 第1回 福まち建築士フォローアップ研修 OKB ふれあい会館
- ・8/8 第2回 福まち広場 オンライン
- ・8/9 令和5年度新規福まち建築士・第2回フォローアップ研修募集開始
- ・9/19 新規福まち建築士研修募集開始
- ・適正化事業 4月～7月
もとす広域連合：24件 ※1件は再審査
揖斐広域連合：9件
関市役所：24件
今後の予定
- ・10/17・10/13・11/2 新規福まち建築士講習・第2回フォローアップ研修
- ・10/26・10/27 全国大会参加
- ・11/14 第3回 福まち広場 オンライン
- ・3/19 令和5年度 全体会

3 空き家まちづくり部会

空き家・すまい総合相談室」総合相談員
5/16・6/20・7/18・8/25・9/22

4 防災まちづくり部会

連合会からの情報をメールにて共有

5 木のまちづくり部会

ぎふ木造塾と連携して活動

6 建築士会全国大会には、全セッションに参加予定。明年からは、3部会に参加。

公益社団法人 岐阜県建築士会

ぎふヘリテージマネージャー協議会

「ぎふヘリテージマネージャー」

県内に眠る文化財建造物を活かす(保存・活用・維持・保全など)活動や、それに関する資料作成(調査・申請など)を「ぎふヘリテージマネージャー」がお手伝いします。

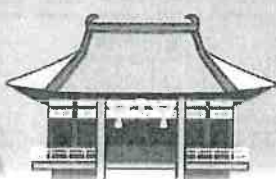
発見

調査

書類
作成



『ぎふヘリテージマネージャー』(ぎふHM)とは
「ぎふヘリテージマネージャー」は、文化庁の「文化遺産を活かした地域文化財総合活用推進事業」補助対象事業として実施された「岐阜県ヘリテージマネージャー等人材育成講座」を受講し修了され、「ぎふヘリテージマネージャー協議会」に登録された方となります。



お問い合わせ先

公益社団法人 岐阜県建築士会

ぎふヘリテージマネージャー協議会

TEL : 058-215-9361

MAIL : gifuhm@outlook.jp

URL : <https://www.gifukenchikushikai.or.jp>

公益社団法人 岐阜県建築士会
「ぎふヘリテージマネージャー」

岐阜県内の文化財を保存すると共にその活用を図り、県民の文化財に対する意識の向上に資することが求められています。

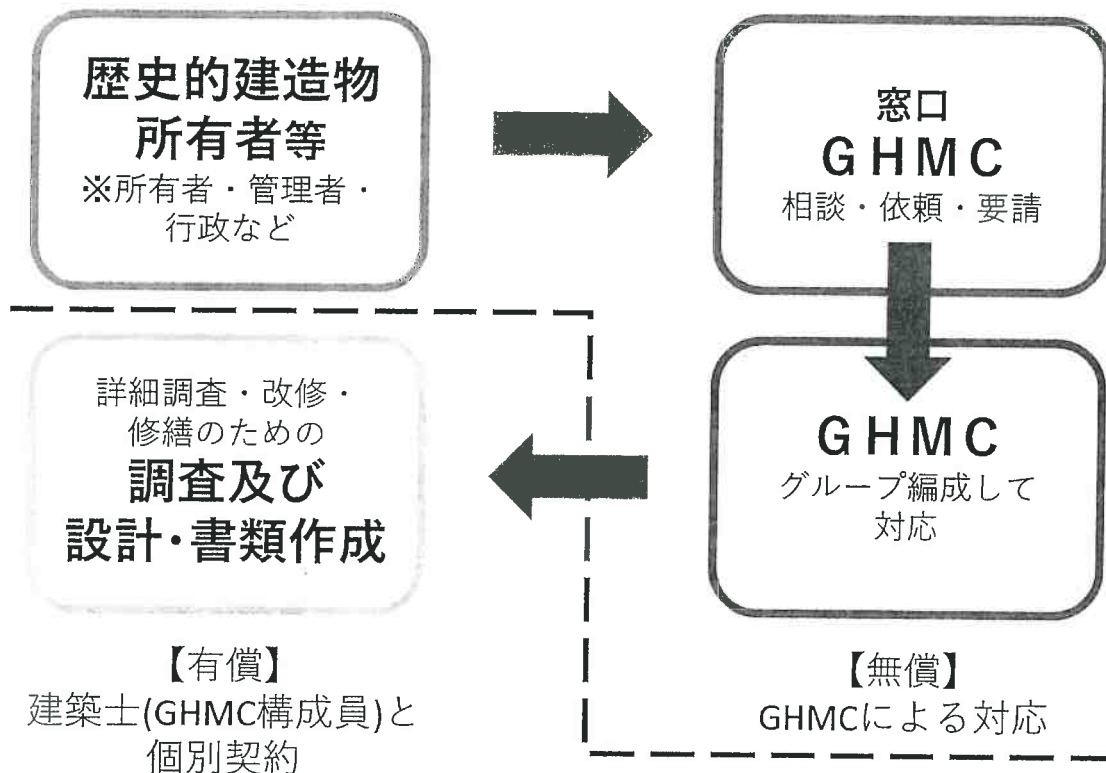
そこで建築士として建造物やまちづくりに対する知識を活かし「地域に眠る歴史的文化的文化遺産を発見し、保存し、活用し、まちづくりに活かす能力を持った人材」を育成し、令和4年度に「ぎふヘリテージマネージャー（ぎふHM）」が誕生しました。

そして岐阜県建築士会として、それらを活かし活動をしようと窓口となる

「ぎふヘリテージマネージャー協議会（GHMC）」を設置しました。

岐阜地域、西濃地域、中濃地域、東濃地域、飛騨地域と各地域に人材を確保しています。

お気軽にお問い合わせください。



活動趣旨

1. 未だ県内に埋もれている貴重な建造物等を所有されている方々(一般・市町村) からのご相談を承り、保存や活用に向けての調査・アドバイス等支援致します。また自ら発見することに努めます。
2. 既に指定されている文化財建造物等を所有されている方々からのご相談を承り、修理・保存等についての調査・アドバイス等支援致します。
3. 文化財建造物等に関する、または登録有形文化財指定に向けての資料作成等支援致します。
4. 今後起こり得る災害に備え、歴史的・文化的建造物を所有されている方々からのご相談を承り、防災維持管理等についての調査・アドバイス等支援致します。

岐阜県ヘリテージマネージャー等人材育成講習会
カリキュラムについて(講義・演習テーマ) 2023年度

No	講義のテーマ	時間	講師	講義(演習)の内容及び目標	場所
第1日目(5月13日)土曜日					
		午後:OKB ふれあい会館展望レセプションルーム 済			岐阜市
	(挨拶) ガイダンス 講習のねらい	13:20	来賓 主催者	HMの人材育成における講習の意義、各講座の内容概説。	オリエンテーション
1	登録文化財と歴史的建造物保存事業の概要(講義)	2時間 (13:30~15:30)	工学院大学 理事長 後藤 治	登録文化財(建造物)や各地域の歴史的建造物の概要及び保存活用の意義について学ぶ。	基礎知識
2	ヘリテージマネージャーの役割と現状(講義)	2時間 (15:40~17:50)	ひょうご HM機構H20 澤田 伸	歴史的建造物に対するヘリテージマネージャーの役割を認識し、現状と活動内容を学ぶ。	基礎知識
第2日目(5月27日)土曜日					
		午前:大野町総合町民センターOK		午後:北岡田家・牧村邸	大野町
3	文化財体系・文化財保護法・岐阜県の文化財保護条例について(講義)	1時間 (10:00~10:50)	県文化伝承課職員	・文化財保護法、文化財体系について ・岐阜県文化財保護条例について	基礎知識
	岐阜県文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・文化財レスキューについて(講義)	1時間 (11:00~12:00)	県文化伝承課職員	・県内の文化財行政について ・文化財レスキューについて	基礎知識
4	地域の歴史的建造物の調査、保存、活用について(講義・演習)	2時間 (13:00~16:30)	元県博物館館長 高橋宏之	大野町の重要文化財牧村家住宅と登録文化財北岡田家住宅等を会場に歴史的建造物の保存と活用について研修	環境計画及び修復の技法・工法
第3日目(6月10日)土曜日					
		午前:美濃市健康文化交流センター		午後:旧今井家、美濃あかりアート館	美濃市
5	伝建地区の登録文化財と街並み実地研修(講義・演習)	4時間 (10:00~15:00)	美濃市教育委員会職員	美濃市の伝建地区の登録及び登録文化財について講義を受け街並みの実地研修を行う。	修復の技法・工法
第4日目(6月24日)土曜日					
		岐阜市歴史博物館		午後:三重塔、岐阜市歴史博物館	岐阜市
6	岐阜市の保存活用の実例(講義)及び川原町の保存活用実例及び実地研修(演習)	2時間 (13:00~15:00)	岐阜市文化財保護課職員、歴史まちづくり課	岐阜市の有形文化財の保存活用について講義及び岐阜公園三重塔の実地研修(伊藤平左エ門建築事務所 解説)	技法・工法
	申請の実務について	(15:10~17:10)	あいちヘリテージ協議会	文化財建造物の申請について学ぶ	
第5日目(7月8日)土曜日					
		午後:水産会館(中会議室)OK			岐阜市
7	防災・減災の概論(講義)	2時間 (13:00~15:00)	岐阜大学准教授 村岡治道	文化財建造物の防災及び減災について及び災害時の対応についての考え方を学ぶ。	環境計画
8	文化財建造物の地震対策(講義)	2時間 (15:10~17:10)	岐阜県森林文化アカデミー教授 小原勝彦	文化財建造物の地震対策について補強・修繕の要点を学ぶ。	修復の技法・工法
第6日目(7月22日)土曜日					
		午後:INNOVATOR'S VILLAGE セミナー			岐阜市
9	国・県指定重要文化財(建造物)について(講義)	1時間 (13:00~14:00)	県文化伝承課職員	・県内の国及び県重要文化財(建造物)について ・文化庁及び県補助事業について	基礎知識
	登録有形文化財(建造物)について(講義)	1時間 (14:10~15:10)	県文化伝承課職員	・登録及び登録後の各種手続きについて(現状変更等) ・各種補助事業について	
10	建築基準法第3条の解説と現状の報告(講義)	1時間 (15:20~16:20)	県建築指導課職員	建築基準法第3条の解説と適用建造物の維持保全及び現状について学ぶ。	基礎知識
第7日目(8月19日)土曜日					
		午後:ワークプラザ(大会議室)OK			岐阜市
11	世界遺産、日本遺産、文化的景観、民俗・無形文化財について(講義)	1時間 (13:00~14:00)	県文化伝承課職員	・各制度についての説明 ・建築物との関わりについて ・県内の状況について	基礎知識
	記念物(史跡・名勝・天然記念物・埋蔵文化財)について(講義)	1時間 (14:10~15:10)	県文化伝承課職員	・民俗文化財、無形文化財について ・高山陣屋について	
12	文化財登録の実務について(講義)	1時間 (15:10~16:10)	あいちヘリテージ協議会	愛知県のヘリテージマネージャーの活躍・実績及び申請の実務などについての事例紹介	基礎知識
	「私たちの見つけた登録文化財」発表について(講義)	1時間 (16:10~17:10)	ぎふヘリテージ委員会	岐阜県のヘリテージマネージャーによる「私が見つけた登録文化財」の発表紹介	基礎知識

	第8日目 (9月2日) 土曜日	午後：下二大新 村半		午後：照蓮寺・日下部館・吉島家	高山市
13	伝建地区の保存活用計画と運営の実態及び歴史的建造物の活用事例 (講義・演習)	4時間 (13:00~17:00)	高山市文化財課・企画課職員 建築士会 田村嘉伸	高山市の文化財・町並み保存の方法と現状と課題及び「高山市伝統構法木造建築物耐震マニュアル」にて学ぶ。 重伝建の改修整備事例の研修	環境計画 (街づくり) 修復の技法・工法
	第9日目 (9月3日) 日曜日	午前：まちの博物館・体験交流館		午後：田上家・荒川家・正宗寺	高山市・丹生川
14	伝建地区の保存活用計画と運営の実態及び文化財建造物の保存修理と構造方法(講義・演習)	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	高山市文化財課職員 建築士	高山市の町並み保存・防災について学び、重伝建内の改修整備活用事例及び丹生川町の文化財の耐震事例の研修。	環境計画 (街づくり)
	第10日目 (9月16日) 土曜日	午前：岩村町本通り		午後：岩村町本通り	恵那市
15	伝建地区の保存活用計画と運営の実態 (講義)	2時間 (10:00~12:00)	恵那市教育委員会職員	伝建地区である岩村町本通りの保存・活用及び運営の説明。	伝建地区の保存活用計画と運営の実態 (講義)
16	文化財建造物の保存修理と構造技法 (演習)	2時間 (13:00~15:00)	NPO 法人いわむらでんでんけん	岩村町の文化財建造物の保存修理と構造方法について説明を受ける。	修理の技法・工法
	第11日目 (10月14日) 土曜日	午前：講義		午後：解説・見学	海津市
17	「早川家住宅」 国指定重要文化財	4時間 (11:00~16:00)	名古屋工業大学名誉教授 麓和善	麓和善先生の解説により早川家住宅の見学	重要文化財の保存、活用
	第12日目 (11月18日) 土曜日	午前：御嵩町		午後：願興寺本堂	御嵩町
18	重要文化財建造物の保存修理と構造技法 (演習)	4時間 (10:00~15:00)	御嵩町教育委員会 学芸員	文化庁による改修工事中のところを見学し研修する。	演習 (指定文化財)
	第13日目 (11月25日) 土曜日	午前：ワークプラザ岐阜 OK			岐阜市
19	寺の耐震事例 実施研修 (演習)	4時間 (13:00~18:00)	岐阜高専准教授:清水隆宏 起雲社寺建築設計:野村健太	真龍寺の耐震改修の事例を勉強する。	演習 (指定文化財)
	第14日目 (12月9日) 土曜日	午後：ふれあい会館 (展望レセプション) OK			岐阜市
20	重要文化財の保存活用事例 (講義)	2時間 (13:00~15:00)	名城大学助教 米澤貴紀	全国の重要文化財の改修・整備の事例と、地域の景観・街並みに合った独自活用方法の研修	環境計画及び修復の技法・工法
21	各市町村より保存活用計画の策定、補助事業の実施について (講義・演習)	2時間 (15:10~17:10)	県文化伝承課職員	・保存活用計画の策定演習 ・補助事業の説明及び事業終了後の取り組みについて。	街づくりの演習
	第15日目 (1月20日) 土曜日	午後：ワークプラザ OK			岐阜市
22	地域の歴史的建造物と建築関係史料について	2時間 (13:00~15:00)	元県博物館館長 高橋宏之	地域の社寺建築や民家等の歴史的建築物とそれに関わる建築史料の調査、保存、活用について研修。	環境計画
23	文化財建築物の修理・活用整備計画策定 (演習)	2時間 (15:10~17:10)	あいちヘリテージ協議会担当者	実際の事例を対象に、修理・活用計画を作成し、討論等を通じ、破損状況に応じた修理方針を立てる。	修理の技法・工法
	第16日目 (2月3日) 土曜日	午後：ワークプラザ 済		午後：	岐阜市
24	寺の耐震事例 実施研修 (演習)	2時間 (13:00~14:50)	宮大工 丹羽陽一 加藤達雄 わ	改修工事における仕口・継手の実例を学ぶ	寺の耐震事例 実施研修 (演習)
25	各班による「私が見つけた登録文化財」グループ討議 (演習)	2時間 (15:00~17:00)	ぎふヘリテージ委員会	岐阜県のヘリテージマネージャーによる「私が見つけた登録文化財」への助言	演習 (登録文化財)
	第17日目 (3月2日) 土曜日	午後：OKB ふれあい会館 (301) 済			岐阜市
26	各班による「私が見つけた登録文化財」発表会 (演習)	2時間 (13:00~15:00)	あいちヘリテージ協議会	実際の事例を対象に、受講生による修理・活用計画を作成し検討会を通じて設計の要点を学ぶ。	演習 (登録文化財)
27	文化財の創造的活用を目指して (講義)	2時間 (15:10~17:10)	静岡ヘリテージセンターSHEC 塩見 寛	文化財の地域の景観・住民生活に寄り添った今後の活用方法を学ぶ。	演習 (街づくり)
	終了式				
	ヘリテージマネージャー育成	合計	68時間		
	保存修理スキルアップ講習	合計	40時間		

(総計) 講義 17 コマ 28 時間、講義・演習 7 コマ 24 時間、演習 6 コマ 16 時間

(特記事項)

- ① ヘリテージマネージャー育成講習カリキュラム 68 時間のうち、60 時間に満たない場合は修了となりません。(◎印は出来るだけ受講して下さい)
- ② 講習会の開催地は変更する場合があります。
・講義・演習のテーマ及び講師についても変更する場合があります。

岐阜県ヘリテージマネージャー育成及び文化財建造物保存修理スキルアップ講習会
のカリキュラムについて(講義・演習テーマ) 2022

No	講義のテーマ	時間	講師	講義(演習)の内容及び目標	場所
	第1日目(5月14日)土曜日	午後:OKBふれあい会館(301)			岐阜市
	(挨拶) ガイダンス 講習のねらい	13:20	来賓 主催者	HMの人材育成における講習の意義、各講座の内容概説。	オリエンテーション
1	登録文化財と歴史的建造物保存事業の概要(講義) 【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:30~15:30)	工学院大学 理事長 後藤 治	登録文化財(建造物)や各地域の歴史的建造物の概要及び保存活用の意義について学ぶ。	基礎知識
2	ヘリテージマネージャーの役割と現状(講義) 【スキルアップを兼ねる】	2時間 (15:40~17:50)	ひょうご HM 機構 H20 澤田 伸	歴史的建造物に対するヘリテージマネージャーの役割を認識し、現状と活動内容を学ぶ。	基礎知識
	第2日目(5月28日)土曜日	午前:大野町第一公民館		午後:北岡田家・牧村邸	大野町
3	文化財体系・文化財保護法・岐阜県の文化財保護条例について(講義) 【スキルアップを兼ねる】	1時間 (10:00~10:50)	県文化伝承 課職員	・文化財保護法、文化財体系について ・岐阜県文化財保護条例について	基礎知識
	岐阜県文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・文化財レスキューについて(講義)【スキルアップを兼ねる】	1時間 (11:00~12:00)	県文化伝承 課 職員	・県内の文化財行政について ・文化財レスキューについて	基礎知識
4	地域の歴史的建造物の調査、保存、活用について(講義・演習) 【スキルアップを兼ねる】	3時間 (13:00~16:00)	元県博物館 館長 高橋宏之	大野町の重要文化財牧村家住宅と登録文化財北岡田家住宅等を会場に歴史的建造物の保存と活用について研修	環境計画及び修復の技法・工法
	第3日目(6月11日)土曜日	午前:美濃市		午後:小坂家住宅	美濃市
5	伝建地区の登録文化財と街並み実地研修(講義・演習)	4時間 (10:00~15:00)	美濃市教育 委員会職員	美濃市の伝建地区の登録及び登録文化財について講義を受け街並みの実地研修を行う。	修復の技法・工法
	第4日目(6月25日)土曜日			午後:川原町、ぎふメディアコスモス	岐阜市
6	岐阜市の保存活用の実例(講義)及び川原町の保存活用実例及び実地研修(演習) 【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:00~15:00)	岐阜市文化 財保護課 職員	岐阜市の有形文化財の保存活用について講義及び岐阜公園・川原町地区の実地研修	技法・工法
	申請の実務について 【スキルアップを兼ねる】	(15:10~17:10)	あいちヘリ テージ協議 会	文化財建造物の申請について学ぶ	
	第5日目(7月23日)土曜日	午後:ぎふメディアコスモス			岐阜市
7	防災・減災の概論(講義) 【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:00~15:00)	岐阜大学准 教授 村岡治道	文化財建造物の防災及び減災について及び災害時の対応についての考え方を学ぶ。	環境計画
8	文化財建造物の地震対策(講義) 【スキルアップを兼ねる】	2時間 (15:10~17:10)	岐阜県森林 文化アカデ ミー教授 小原勝彦	文化財建造物の地震対策について補強・修繕の要点を学ぶ。	修復の技法・工法
	第6日目(8月20日)土曜日	午後:ワークプラザ岐阜			岐阜市
9	国・県指定重要文化財(建造物)について(講義) 【スキルアップを兼ねる】	1時間 (13:00~14:00)	県文化伝承 課 職員	・県内の国及び県重要文化財(建造物)について ・文化庁及び県補助事業について	基礎知識
	登録有形文化財(建造物)について(講義) 【スキルアップを兼ねる】	1時間 (14:10~15:10)	県文化伝承 課 職員	・登録及び登録後の各種手続きについて(現状変更等) ・各種補助事業について	
10	建築基準法第3条の解説と現状の報告(講義) 【スキルアップを兼ねる】	1時間 (15:20~16:20)	県建築指導 課 職員	建築基準法第3条の解説と適用建造物の維持保全及び現状について学ぶ。	基礎知識
	第7日目(9月17日)土曜日	午後:ぎふメディアコスモス(仮ワークプラザ)			岐阜市
11	世界遺産、日本遺産、文化的景観、民俗・無形文化財について(講義)	1時間 (13:00~14:00)	県文化伝承 課 職員	・各制度についての説明 ・建築物との関わりについて ・県内の状況について	基礎知識
	記念物(史跡・名勝・天然記念物・埋蔵文化財)について(講義)	1時間 (14:10~15:10)	県文化伝承 課 職員	・民俗文化財、無形文化財について ・高山陣屋について	
12	文化財登録の実務について(講義)	2時間 (15:10~17:10)	あいちヘリ テージ協議 会	愛知県のヘリテージマネージャーの活躍・実績及び申請の実務などについての事例紹介	基礎知識
	第8日目(10月1日)土曜日	午前:下二大新 村半		午後:照蓮寺・日下部館・吉島家	高山市
13	伝建地区の保存活用計画と運営の実態及び歴史的建造物の活用事例(講義・演習)	4時間 (10:00~15:00)休 息1時間	高山市文化 財課・企画課 職員 建築士会 田村嘉伸	高山市の文化財・町並み保存の方法と現状と課題及び「高山市伝統構法木造建築物耐震マニュアル」にて学ぶ。 重伝建の改修整備事例の研修	環境計画(街づくり) 修復の技法・工法

	第9日目 (10月2日) 日曜日	午前：まちの博物館・体験交流館		午後：田上家・荒川家・正宗寺	高山市・丹生川
14	伝建地区の保存活用計画と運営の実態及び文化財建造物の保存修理と構造方法(講義・演習)【スキルアップを兼ねる】	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	高山市文化財課職員 建築士	高山市の町並み保存・防災について学び、重伝建内の改修整備活用事例及び丹生川町の文化財の耐震事例の研修。	環境計画(街づくり)
	第10日目 (10月22日) 土曜日	午前：白川郷		午後：白川郷	白川村
15	伝建地区の保存活用計画と運営の実態及び文化財建造物の保存修理と構造方法(講義・演習)	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	白川村教育委員会職員	白川村(合掌)の運営及び保存修理・構造方法等それに伴う防災設備の考え方について研修	環境計画及び修復の技法・工法
	第11日目 (11月5日) 土曜日	午前：交流会		午後：街並み	郡上市
16	伝建地区の登録と保存、修復について(講演・演習)	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	郡上市教育委員会事務局社会教育課係長 齊藤知恵子	郡上伝建地区の登録と保存及び修復について研修する。	環境計画及び修復の技法・工法 演習
	第12日目 (11月19日) 土曜日	午前：メディアコスモス		午後：上宮寺	岐阜市
17	寺の耐震事例 実施研修(演習)	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	建築士会 加藤達雄 宮大工 丹羽陽一	岐阜市の上宮寺の耐震改修の事例を勉強する。	演習(指定文化財)
	第13日目 (12月3日) 土曜日	午前：メディアコスモス		午後：真龍寺	岐阜市
18	寺の耐震事例 実施研修(演習)【スキルアップを兼ねる】	4時間 (10:00~15:00) 休息1時間	岐阜高専准教授 清水隆宏 起雲社寺建築設計 野村健太	真龍寺の耐震改修の事例を勉強する。	演習(指定文化財)
	第14日目 (1月21日) 土曜日	午後：ふれあい会館(301中会議室)			岐阜市
19	重要文化財の保存活用事例(講義)【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:00~15:00)	名城大学助教 米澤貴紀	全国の重要文化財の改修・整備の事例と、地域の景観・街並みに合った独自活用方法の研修	環境計画及び修復の技法・工法
20	各市町村より保存活用計画の策定、補助事業の実施について(講義・演習)【スキルアップを兼ねる】	2時間 (15:10~17:10)	県文化伝承課職員+市町村	・保存活用計画の策定演習 ・補助事業の説明及び事業終了後の取り組みについて。	街づくりの演習
	第15日目 (2月4日) 土曜日	午後：OKB ふれあい会館(大会議室)			岐阜市
21	地域の歴史的建造物と建築関係史料について【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:00~15:00)	元県博物館館長 高橋宏之	地域の社寺建築や民家等の歴史的建造物とそれに関わる建築史料の調査、保存、活用について研修。	環境計画
22	文化財建築物の修理・活用整備計画策定(演習)【スキルアップを兼ねる】	2時間 (15:10~17:10)	あいちヘリテージ協議会担当者	実際の事例を対象に、修理・活用計画を作成し、討論等を通じ、破損状況に応じた修理方針を立てる。	修理の技法・工法
	第16日目 (2月18日) 土曜日	午前：岩村町本通り		午後：岩村町本通り	恵那市
23	伝建地区の保存活用計画と運営の実態(講義)	2時間 (10:00~12:00)	恵那市教育委員会職員	伝建地区である岩村町本通りの保存・活用及び運営の説明。	環境計画(街づくり)
24	文化財建造物の保存修理と構造技法(演習)	2時間 (13:00~15:00)	NPO法人いわむらでんでんけん	岩村町の文化財建造物の保存修理と構造方法について説明を受ける。	修理の技法・工法
	第17日目 (3月4日) 土曜日	午後：OKB ふれあい会館			岐阜市
25	「私が見つけた登録文化財」発表会(演習)【スキルアップを兼ねる】	2時間 (13:00~15:00)	あいちヘリテージ協議会	実際の事例を対象に、受講生による修理・活用計画を作成し検討会を通じて設計の要点を学ぶ。	演習(登録文化財)
26	文化財の創造的活用を目指して(講義)【スキルアップを兼ねる】	2時間 (15:10~17:10)	静岡ヘリテージセンター-SHEC 塩見 寛	文化財の地域の景観・住民生活に寄り添った今後の活用方法を学ぶ。	演習(街づくり)
	終了式				
	ヘリテージマネージャー育成	合計	69時間		
	保存修理スキルアップ講習	合計	41時間		

(総計) 講義 17コマ 28時間、講義・演習 7コマ 25時間、演習 6コマ 16時間

(特記事項)

- ①ヘリテージマネージャー育成講習カリキュラム 69時間のうち、必修科目(◎印) 33時間を含め最低 60時間以上履修する。
 - ②保存修理スキルアップ講習会カリキュラム 41時間のうち、必修科目(◎印) 33時間を含め最低 33時間以上履修する。
- ・講習会の開催地は変更する場合があります。
 - ・講義・演習のテーマ及び講師についても変更する場合があります。

まちづくり委員会

まちづくり委員会は、県内の伝統的な建築やまち並み景観の維持に貢献できるように活動を行います。

まちづくりは、歴史・景観・防災・空き家・福祉などに分かれていますが、福井県建築士会まちづくり委員会では、「まちづくり連携促進事業」として、酒蔵を活かしたまちづくりを社会貢献を含む歴史的まちづくりとして行い、又、「まちづくりデータベース事業」としまして、福井県の優れた建築物を調べ、データとして残していく活動を行っています。

活動内容

1. 今までの経過と課題

福井県建築士会まちづくり委員会では、以前から酒蔵を活かしたまちづくりをめざし、福井県酒造組合との協定を模索してきました。

一方、新しく「ふくいまちづくり委員会」のHPを立ち上げ、すぐれた建物のデータをデータベース化し、だれでもそのデータにアクセスしやすくする環境を整備することになりました。

すでに、酒蔵データ(30数件)については、酒造組合の協力のもとに整備されており、これをそのデータベースに掲載することとしました。

2. 検討とこれからの作業

1. 協定

9月4日(金)に酒造組合を訪ね、再度、協定の在り方・30数件の酒蔵のHP掲載を含め、お互いの活動を支援し合うことを確認しました。

2. 酒蔵30数件のHP掲載について

まず、「ふくいまちづくり委員会」のHPを作り、その中に『酒蔵を活かしたまちづくり』のメニューを作る。そこから、福井県建築士会や福井県酒造組合のHPにリンクできるようにします。以後、まちづくり連携促進事業とします。

3. データベースづくり

300件ほどのデータを各支部ごとに分類し、来年以降に各支部長様に協力をお願いして、建物の調査やHP掲載の承認を得ていきます。

以後、まちづくりデータベース事業とします。

レポート 1111

このように、福井県まちづくり委員会では、まちづくり連携促進事業とまちづくりデータベース事業の2つの事業を軸として、従来からある建築士会の各支部と言う地域性を活かし、又それをHPというデジタルで拡大していく事により、素晴らしい建築物を後世に伝え残していけると思っています。



酒造を活かしたまちづくり



ふくいの建物データベース

越前おおのめいりんオペラ塾

トレモロ20周年記念コンサート

1つのオペラと1つのオペレッタ

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」
オペレッタ「メリーウイドウ」

出演

演奏 トレモロ
指導・ゲスト 勝木陽子
ゲスト 吉岡薫
増田朱紀
田代源
山本晃永
ピアニスト 西尾順子
石蔵陽子
宇野秀哉
司会 羽生ちひろ



ワークショップ
「お菓子の家をつくろう」

9/24 sun.

10:00~16:00

場所: (株)サカエ広告新社屋
(大野市大和町5-6)

10/29 SUN 2023'

学びの里 めいりん講堂

大野市城町9-1 Tel 0779-65-5590

開場 1時30分 開演 2時

チケット 1,000円 / 高校生以下無料

〈主催〉トレモロ

〈協賛〉公益財団法人 大堀秀夫記念育英財団

〈後援〉福井県・大野市・福井新聞社

〈助成〉福井県アートプロジェクト支援事業

〈協賛〉公益財団法人
げんでんふれあい
福井財団



〈お問合せ〉 脇本淳子

junko@kore.mitene.or.jp

〒912-0022 大野市陽明町4-605

Tel. 090-2834-2691



富山県のまちづくり委員会は、「街中まちづくり部会」、「防災まちづくり部会」、「歴史まちづくり部会」、「木のまちづくり部会」と4つの部会で構成されています。

□ 「街中まちづくり部会」

● 「うるおい環境とやま賞」募集

平成15年度に富山県景観条例が施行された翌年の平成16年度から富山県建築士会が県からの委託事業として「うるおい環境とやま賞」のパネル展示の巡回から始まり、応募に関することやパンフレット用の撮影等まで一連の取り組みを行っています。

今年度は4月28日～6月10日の間、道の駅 万葉の里から始まり、新川文化ホール、高志の国文学館とパネル展示を巡回しました。

パネルの設置と共に応募用紙、昨年度のパフレット等を設置し、応募を募りました。



□ 「防災まちづくり部会」

● かぐてんぼう富山

家具倒防止 壁紙の巻 防塵固定

平成24年3月に被災地訪問事業に参加した経験から、家具固定を支援するかぐてんぼう隊富山が組織され、家具固定のボランティア活動が行なわれている。

● 建築士の日事業「三会共催の防災フォーラム」 6月25日

建築士会、建築士事務所協会、JIA富山地域会の三会共催の防災フォーラムが行なわれ、新田富山県知事と藤井富山市長との対談が企画され、富山の防災計画や、立山の大掛かりな防災歴史等、先人の苦労があつての富山県であった事等話され、地震体験や軸組免振装置を体験され、「かぐてんぼう隊富山」の活躍も知って頂いた。知事から「この活動を富山県全体に広めてほしい。そのための予算を検討します」と活動が広がっている。



□ 「歴史まちづくり部会」

● 第4期ヘリテージマネージャー養成講座

重要文化財では文化財とは何か、重伝建地区では修理活用の座学や地区の見学、登録有形文化財では文化財調査の演習を行い、文化財の耐震設計の実習も行った。

県内外から講師を迎え、60時間以上の講座を受講した17名に認定証が交付された。



● 令和4年6月19・20日に能登半島を震源とする地震による文化財被害状況調査

当会から5名が同行し、調査は車窓又は現地で見視による被害状況の確認を行なった。



● 東海北陸+1(神奈川)ブロック会議開催(令和4年9月24日福井・今庄宿)

各県での活動状況の報告の後、ブロック内での災害時の協力体制について協議し、会議後、今庄旅籠塾の皆さんによる案内で重伝建地区を見学した。



● 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会(令和4年10月13日秋田県)

全国から128名が参加され、各ブロックの活動状況、文化財防災センターの取組について、また、災害時の被害確認調査・技術支援について報告が行なわれた。

当会から、珠洲市周辺文化財被害状況調査へ同行した経緯や調査の状況を報告行なった。



● 古民家や歴史的な建物の実測調査の実施

当会員の紹介で数件の実測調査を行なった。

会員に参加協力をお願いして、実測調査と現状の平面図・立面図を作成しました。

※ 建築士会や会員を通じて古民家や歴史的な建築物の相談が増えてきている。

空き家対策であり、大きな地域貢献に繋がる。

地域の歴史・建築文化遺産を発見し
保存活用して地域の個性を活かしたまちづくりの
推進を図ることを目的とした活動を行っています
地域の方々と共に保存活用に取り組んでいます

建築士会へリテージネットワークスやま

歴史的建造物・町並みの保存活用

未来へ

— 歴史的建造物 —
身近な文化遺産を

全国ヘリテージマネージャー ネットワーク協議会

ヘリテージマネージャーで構成する地域ネットワークの
全国的な連携と活動に関する情報交流、普及等を行っています。

東海北陸ブロック ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

静岡、愛知、三重、岐阜、福井、石川、富山の各県で
活動するヘリテージマネージャーが、
災害時の文化財保護協力体制づくりや意見交換などを行っています。

協力団体紹介

富山県教育委員会、(一社)富山県建築士事務所協会
(公社)日本建築家協会北陸支部、(一社)富山県建設業協会
富山県建築組合連合会、古民家再生協会 他

お問い合わせ

公益社団法人 富山県建築士会

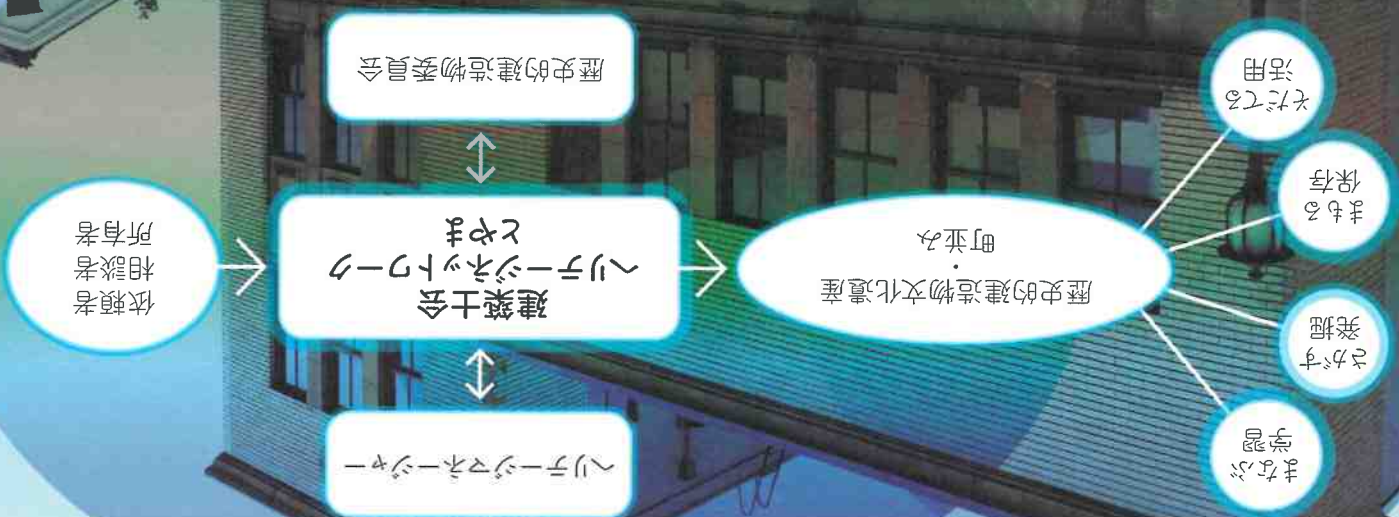
Toyama Society of Architects & Building Engineers

〒930-0094 富山県富山市安住町7番1号 富山県建築設計会館2階
TEL 076-482-4446 FAX 076-482-4448

<https://toyama-kenchikushikai.or.jp/>

info@toyama-kenchikushikai.or.jp

「歴史的建造物」とは造られてから概ね50年経過した建築物(住宅や蔵などを含む)や工作物(門や塀・塔など)の総称です



建築士会へリテージネットワークとま

おもな業務内容

- ・ 歴史的町並みの調査
 - ・ 伝統的な建物や工作物に関する相談受付
 - ・ 伝統的な建物や工作物などの調査・利活用の提案
 - ・ 登録有形文化財の申請業務
 - ・ 伝統的建造物群保存地区選定を目指す活動への協力
 - ・ 歴史的町並みの保存修景へのアドバイス
 - ・ 防災維持管理等についてのアドバイス
 - ・ 県内の歴史的建造物データベースの維持管理等
- 貴重な伝統的な建物を所有されている方々
(個人、法人、行政)などからのご相談を承ります。



まなぶ

【学習】

価値ある歴史的文化遺産の保存・活用を提案するために必要な能力開発を目的とした勉強会、見学会の企画・運営

さがす

【発掘】

地域の歴史的建造物を発見するためのまち歩き等の企画・運営

まもる

【保存】

歴史的建造物の次世代への継承と災害時などに歴史的建造物を保全する為の迅速な行動

そだてる

【活用】

調査した歴史的建造物や町並みがその地域に愛され受け継がれていくような魅力ある企画・提案



へリテージマネージャー

(地域歴史文化遺産保全活用推進員)

歴史的建造物の保存・修復や耐震補強などの設計・監理を業務とすることができる
専門的知識と経験をもち、認定された建築士。

歴史的建造物委員会

歴史的建造物の活用を目的とした現状変更の際して現行法規の適用が困難な場合に
専門家からなる歴史的建造物委員会が確認・調査を実施し、
建築基準法の適用除外を受けるための委員会を開催します。

第 14 回 みえ景観まちづくり会議 開催案内

『潮風と情緒の二見のまち歩き』 ～夫婦岩表参道を歩く～

テーマ 「ここでわたしはまちづくりに何ができるか」

(一社)三重県建築士会 歴史・景観まちづくり委員会

開 催 趣 旨

三重県建築士会は平成 21 年に三重県から景観整備機構の指定を受け、建築士としての職能を活かしたまちづくりへの取組み、提案、まちなみ見学を県内各地域で開催させていただいております。昨年度は名張旧市街のまちを歩き、歴史的建造物を活かした景観まちづくりの取り組みについて、みえ景観まちづくり会議を開催させていただきました。

今年度は伊勢市二見町において開催させていただくことになりました。ご案内申し上げます。

二見町は立石崎の太陽信仰と伊勢神宮に関するみそぎの場として栄えてきた町です。このため、二見町には夫婦岩から続く海岸沿いの松林や二見浦の渚などに代表される風光明媚な自然景観とともに、切妻妻入屋根の伝統的な趣が残る民家や、歴史的な風情や風格を感じる木造三階建ての旅館が見られるなど、伊勢神宮にまつわる歴史を背景にした魅力ある街並み景観が形成されています。このまちなみを体験しましょう。

また 見学前に二見町のまちづくりについて講演をいただきその後見学していただきます。

併せて、「たずねてみよう三重のええとこ」と題して、伊勢・志摩地区の建物を中心に、県内の国登録有形文化財【建造物】のパネルを展示します。こちらもお観覧ください。

この「みえ景観まちづくり会議」を開催することによって、地元住民の方々の願いが、行政職員の思いが、又、我々建築士の考えが、『二見町』のまちづくりの一助になればと思います。みんなで、伊勢二見のまちなみについて語りましょう

↓夫婦岩表参道



↓JR 二見浦駅



↓賓日館



↓昨年のまち歩きの模様



建築士会 CPD[継続能力開発]制度 認定講座 (3単位予定)
主催 (一社)三重県建築士会 後援(予定) 三重県 伊勢市

※雨天決行といたしますが、警報発令時は中止させていただく場合があります。

Ver.0630

日時 : 令和5年11月18日(土) 13:00 ~ 16:45 (受付 12:30~)
場所 : 二見公民館 伊勢市二見町茶屋 209 Tel 0596-42-1117
参加費 : 無料
参加対象者 : 地域住民(自治会・まちづくり関係者)、三重県・伊勢市行政職員
建築士会会員
見込参加者数 : 30名~60名
後援 : 三重県(予定) 伊勢市(予定)
アクセス : 鉄道の場合 JR 参宮線 二見浦駅下車 徒歩 10分
(注 ICカードは使用できません。快速みえは伊勢市にて後ろ車両切り離し有り)
車の場合 二見生涯学習センター駐車場すぐ

進行予定

12:30~ 受付
13:00~ 開会、挨拶、趣旨説明 . . . 建築士会
13:10~ 地域貢献活動事例発表 . . . 建築士会 伊勢支部

二見のまちづくりについて講演

13:15~ 三重大学名誉教授
「二見町茶屋地区の景観形成」 . . . 菅原 洋一 氏
13:35~ 伊勢志摩観光コンベンション機構 事業推進グループ長
「二見町の観光の賑わい」 . . . 須崎 充博 氏

13:50~ 移動
14:00~ 賓日館見学 (奥野館長解説)
14:45~ 休憩、準備
14:50~ まちなみ歩き見学(各グループ別)

15:50
15:55~ ワークショップ グループ別に意見交換
テーマ「ここでわたしはまちづくりに何ができるか」
・ 何から手をつけるか
・ 具体的にどんなことをしていくこととなるか
・ どんな人・団体等の連携が必要となるか
・ その他

16:30 グループ別発表
16:45~ 閉会
16:50~ 片付け、解散
17:30~ 意見交換会後半 (希望者のみ 別会場に移動 会費(5000円)当日集金)

下記よりお申し込みください ※令和5年10月19日(木)締切

<https://forms.gle/fnPy4n8majn6PG2S7>



(みえ景観まちづくり会議
専用申込サイト)

※ 当日、高熱の方、体調の優れない方は参加ご遠慮していただくようお願いします。

問合せ先 三重県建築士会事務局 Tel:(059) 226-0109 FAX:(059) 225-4281
E-Mail: kenchikushikai-mie@nifty.com
(当日緊急連絡先 090-8867-6633(中村 貴司) 090-8133-9020(佐野 功児))

令和4年11月13日

第13回 みえ景観まちづくり会議 報告書

『旧名張のまち歩き』 初瀬街道の歴史を探る

(一社)三重県建築士会 歴史・景観まちづくり委員会

日時 令和4年11月12日(土)13:30~16:40

場所 名張産業振興センター「アスピア」 名張市南町822番地の2

参加人数 43名 内訳：建築士会員-33名(委員会12名)、
名張まちづくりの会-5(建築士会員3)
名張地区まちづくり協議会-1
近大高専准教授-1
行政-3名(名張市-1、三重県-2)

- 1、『第13回 みえ景観まちづくり会議』開催 (司会進行：柴井)
・ 開会(西出伊賀支部長) 挨拶(伊藤会長) 趣旨・進行説明(佐野(功))

- 2、名張のまちづくりについて講演
・「旧細川家住宅の活用について」

名張地区まちづくり協議会会長 田畑 純也 氏

- 3、名張のまちなみ見学

参加者を4班に別け、それぞれに案内人から説明を受け、名張のまちなみを探索した。秋晴れの中、約90分まちなみを見学した

- 4、名張のまちづくりについて講演
・「名張旧町の町並みと町家について」

近畿大学工業高等専門学校 准教授 田中 和幸 氏

- 5、意見交換(進行 中村)

見学後、各班が撮影した写真をスクリーンに映写し、発表意見交換した。

(ア)川地写真館の三角屋根が特徴的、遠景の構図が特に良い

(イ)ひやわい道の存在に興味を湧いた

(ウ)煙出し屋根が屋根をデザインしている

(エ)まっすぐな道路の構図が面白く感じた

(オ)懐かしい電話機があるのを発見した

(カ)ホワイトボードに被写体の名称明記するのはわかりやすい

質疑 瓦屋根が多く、また鬼瓦にも特徴的なものが多いが何か理由はあるのか
昔は地域ごとに数件の瓦屋が存在していた名残かもしれない

- 6、閉会

まちなみ見学謝辞(岩見 まちづくりの会)

まとめ、総括(中森 まちづくりの会会長)

まちづくりの活動を続けるので また まちなみ見学に来ていただきたい

閉会(宮田副会長)



受付状況



パネル展示



開催支部挨拶



会長挨拶



講演 田畑氏



まちなみ見学



講演 田中氏



聴講風景



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学



まちなみ見学

伊賀

三重

町並みの活用を提案

名張 三重県建築士会が、歴史的建造物を生かす活動などを考える「みえ景観まちづくり会議」を名張市の名張産業振興センターアスパアで開いた。名張での開催は初めてで、参加者は町家が点在する旧市街地・旧町を歩いて見学し、まちの魅力や課題について意見を交わした。

県建築士会の歴史・景観まちづくり委員会が企画する年一回の会議。住民や行政と意見交換し、まちづくりの活性化を目指している。

13回目の今回は12日に名張で開かれ、県内の建築士ら44人が参加した。伊藤公智会長が富山県高岡市の町並み視察を紹介し、「(町家などは)維持が大変で、後継者がいない不安がある。克服した地域では継承がかなう。建築士の視点がまちづくりの一助になれば」とあいさつ。地元の名張地区まちづくり協議会の田畑純也会長が、近くの国登録有形文化財「旧細川家住宅」(やなせ宿)の運営方法や、コロナ禍で来場者が減る現状を話した。

町並み見学は4グループに分かれて行われ、地元の建築士ら4人がガイドを務めた。巡ったのは、江戸～昭和前期の国登録有形文化財の建物など。町家や、洋風の近代建築などを訪ねて、屋根や窓、瓦やタイルなどの細部までを観察した。

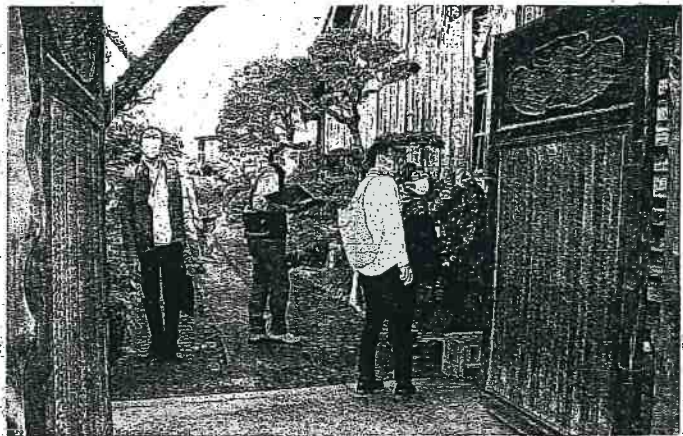
ともに普段は非公開の国登録有形文化財で元旅館の山中家住宅、旧喜多藤では、古いガラス窓や茶室、庭園などを眺めた建築士らが、空間が広く見える造りなどに注目し、「素晴らしい」「魅力が多く、見ていてキリがない」と感嘆した。

国登録有形文化財を巡る

県建築士会が旧町見学

見学後は、旧町を学生と調査、研究する近畿大工業高等専門学校の田中和幸准教授(建築史)が講演し、旧町を通る初瀬街道沿い(約2.3キロ)の建物のうち、半数(約200棟)が町家などの歴史的建造物との調査結果を示した。幕末の安政伊賀地震(1854年)によるとみられる被害の痕跡がある町家も紹介。「旧町は町並みが残るが、学術的な調査は行われてこなかった。さらに調べて、情報を発信できれば」と語った。

意見交換では、廃業や、積極的に利用されていない建物が目立つ点から、「もったいない」「部分的にも活用を」などの指摘があった。県建築士会歴史・景観まちづくり委の佐野功児委員長は旧町にある江戸川乱歩生誕地周辺などを例に、「まちが外の人に開かれていない印象。案内が不十分なので、散策ルートを充実させてみては」と提案した。【久木田照子】



門に使われた木材や技術などを調べる建築士ら
—名張市で

石川県建築士会まちづくり委員会活動報告

令和5年9月30日（土）

報告者 副委員長 竹内 正人

【令和4年度】

○イベント『みんなで作ろう秘密基地』

歴史的建造物調査を行った中で、活性化に向けて様々なイベント活動をされている商店街と出会い、その関連イベントとして、子供たちと段ボールで「ジオデシックドーム」を作るイベントを開催した。

→ 商店街『金澤表参道』：金沢東別院の門前町として栄え、仏壇店や法衣店などが軒を並べる中、近年は町家を改装したカフェも登場している。
市によるアーケード撤去、電線類地中化事業実施済である。。

①日 時：令和4年10月10日（月・祝）10:00～13:00

②場 所：金澤表参道 金沢東別院 山門前（雨天のため金沢幼稚園にて開催）

③参加者：園児とその保護者など55名（その他士会ほかスタッフ：20名）



○その他研修

（1）新県立図書館（7月オープン）の見学会

①日 時：令和4年10月28日（金）

②参加者：27名（青年・女性委員会含む）

（2）糸魚川方面への研修旅行

（金沢支部との共同開催）

①日 時：令和4年11月6日（日）

②参加者：まちづくり委員6名

③視察先：糸魚川市谷村美術館

同市駅前北広場キターレなど



【令和5年度】

- ◆「我（和）がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）」助成金（助成率2／3、助成金200千円／（公財）いしかわまちづくり技術センター）を受けて事業を実施している。

1.目的

- （1）金沢駅から東山地区に続くルートのもちなみ形成、バリアフリー化などの提案を行い、この地区でのまちづくりの機運を高め、地元のまちづくり活動の活性化に継続に寄与する。
- （2）まちづくり委員会の基礎的活動として、市民のまちなみ・まちづくりへの関心・知識を醸成する。

2.事業概要

- （1）まちづくり委員会のメンバーなどが、対象地区を安全性、利便性及び快適性（まちなみなど）の観点から、現地を調査し、改善点やさらに魅力アップすべき点を抽出するサーベイを実施し、それらをメンバーの意見交換により、図面等にまとめる。 【事業（1）-①：別紙のとおり】
→ 令和5年度は、金沢駅から別院通り、横安江町そして尾張町を經由して、東山に続くルートとする。

来年度以降、地元商店街等にアイデア、改善点などを提案し、まちづくりの機運が高まり、さらに金沢市が「歩けるまちづくりのルート」として位置づけられれば、地域の発展のさらに寄与する可能性もある。

- また、昨年度に続き、地元商店街（横安江町商店街）のイベントの一環としてまちづくり委員会主催のイベント（子供向けの建築物や街に対する関心の向上）を実施する。 【事業（1）-②：別紙のとおり】
→ 上記ルート上の横安江町商店街で実施

- （2）金沢市の貴重な歴史的資産である「金沢城惣構跡」を、建築士や学生などが専門家とともに散策する研修会を実施する。 【事業（2）：別紙のとおり】

【事業（１）-①】〇まちづくりサーベイ

1.調査概要

まちなかを踏査し、沿道建築物の空き家、空き店舗、空き地の状況及び建築用途※を把握し、次の観点により、撤去・改善すべき箇所及びさらに魅力アップすべき箇所を整理し、図面にプロットし、安全、利便及び快適に歩行、散策できるまちなかの空間形成の基礎資料とする。

【安全性】老朽空家・荒れ空地、耐震性能の低い建築物(目視では不可)

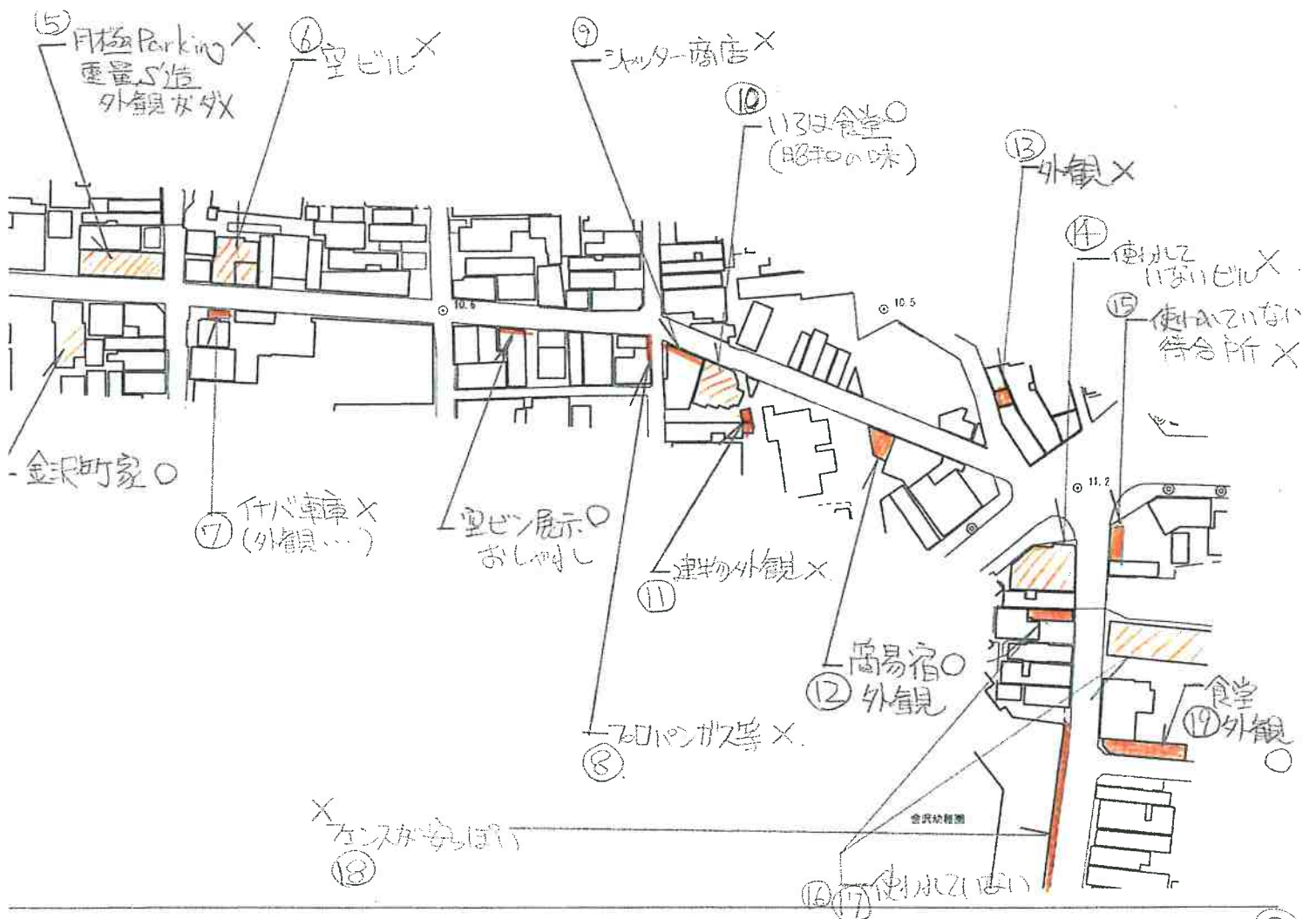
見通しの悪い交差点、途切れた歩道、不要な段差 など

【利便性】十分な歩道、点字ブロック、公園、広見、ベンチ など

【快適性】伝統的建造物、まちなみと調和した外観、工夫された店先
無電柱化、美化舗装 など

2.調査結果例（整理前）

・・・令和5年9月2日（土）惣構跡散策研修会後の実施分



【事業（１）-②】〇イベント

『2023 よこ3D!アートコンペ』関連イベント

主催 一般社団法人 石川県建築士会まちづくり委員会
協賛 加賀木材株式会社 株式会社サンゲツ

みんなで作ろう秘密基地

木製のジオデシックドームを作ります。

参加者募集

参加費無料

石川県建築士会
まちづくり委員会
facebook

2023. 10月 8日 (日) 10:00~12:30

会 場：金沢東別院 山門前 (雨天の場合：9日(月・祝)に順延)

■スケジュール

募集対象：小学生までの子供さんとその保護者

※必ず保護者と一緒にご参加お願い致します。

申込方法：下記の参加申込書を記入の上、石川県建築士会事務局へ

FAX又はEメールで申込みして下さい。(先着順)

一般社団法人 石川県建築士会 事務局 (金沢市弥生2丁目1番23号)

FAX: 076-243-4821

E-mail: lshikawashikai5@max.odn.ne.jp

お問合せ：TEL: 076-244-2241 石川県建築士会事務局 担当: 塚田 まちづくり委員会 担当: 西村・細川

※順延等の判断は前日の18時までにまちづくり委員会のfacebookページにてお知らせします。

- 9:30~ 受付
- 10:00~12:00 秘密基地づくり
- 12:00~12:30 完成・記念写真

2023年(令和5年)9月5日(火曜日)

建設工業新聞

金沢城惣構跡を散策

城下囲む堀など、地域の歴史身近に

県建築士会まちづくり委

石川県建築士会まちづくり委員会(西村忠夫委員長)は2日、金沢城惣構跡(かなざわじょうそうがまえあと)の散策会を開催した。

「惣構」とは、城下町を囲い込んだ堀や土を盛り上げて築いた土居などのこと。金沢城惣構は、



増田金沢工大名誉教授の案内で散策する参加者

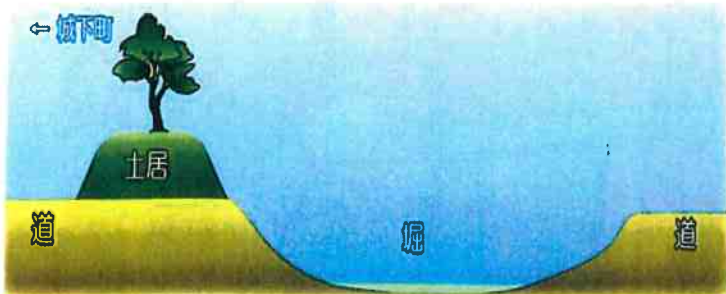
加賀藩二代藩主の前田利長が高山右近に命じて城と城下の防備のために東西の内惣構が造られ、三代藩主の利常によって東西の外惣構を造ったと言われている。戦火に遭わなかった金沢は当時の惣構跡が残っており、街中の石積や石垣、高低差のある段丘といった惣構跡

を示すものが多く存在している。今回、金沢工業大学名誉教授の増田達男氏を講師に招き、増田氏の案内と解説により惣構跡を歩いて廻ることで、地域の歴史と文化を身近に感じ、知る機会になればと散策会を企画したもの。この日は増田氏と建築

士会会員をはじめ一般市民、合わせて26人の参加者が県立美術館前広場に集合。西村委員長が「暑いので、体に気をつけてながら散策を楽しんでください」とあいさつした後、増田氏の案内で西外惣構跡を廻った。

西外惣構跡は金沢市立中村記念美術館北側(本多家屋敷内の崖下)から始まり、香林坊・長町を経て、東別院裏で2方向に分水、浅野川に流れ込む延長約2・8キロ。この日は、江戸時代の寛文年間(1661-1716)に作られた金沢の古地図の惣構ルートをそのまま辿り、玉川図書館辺りまでを散策。金澤町家も眺めながらゆっくりと歩いた。

増田氏は道々、街中に張り巡らされた堀や堀の城側に築かれた土居などを

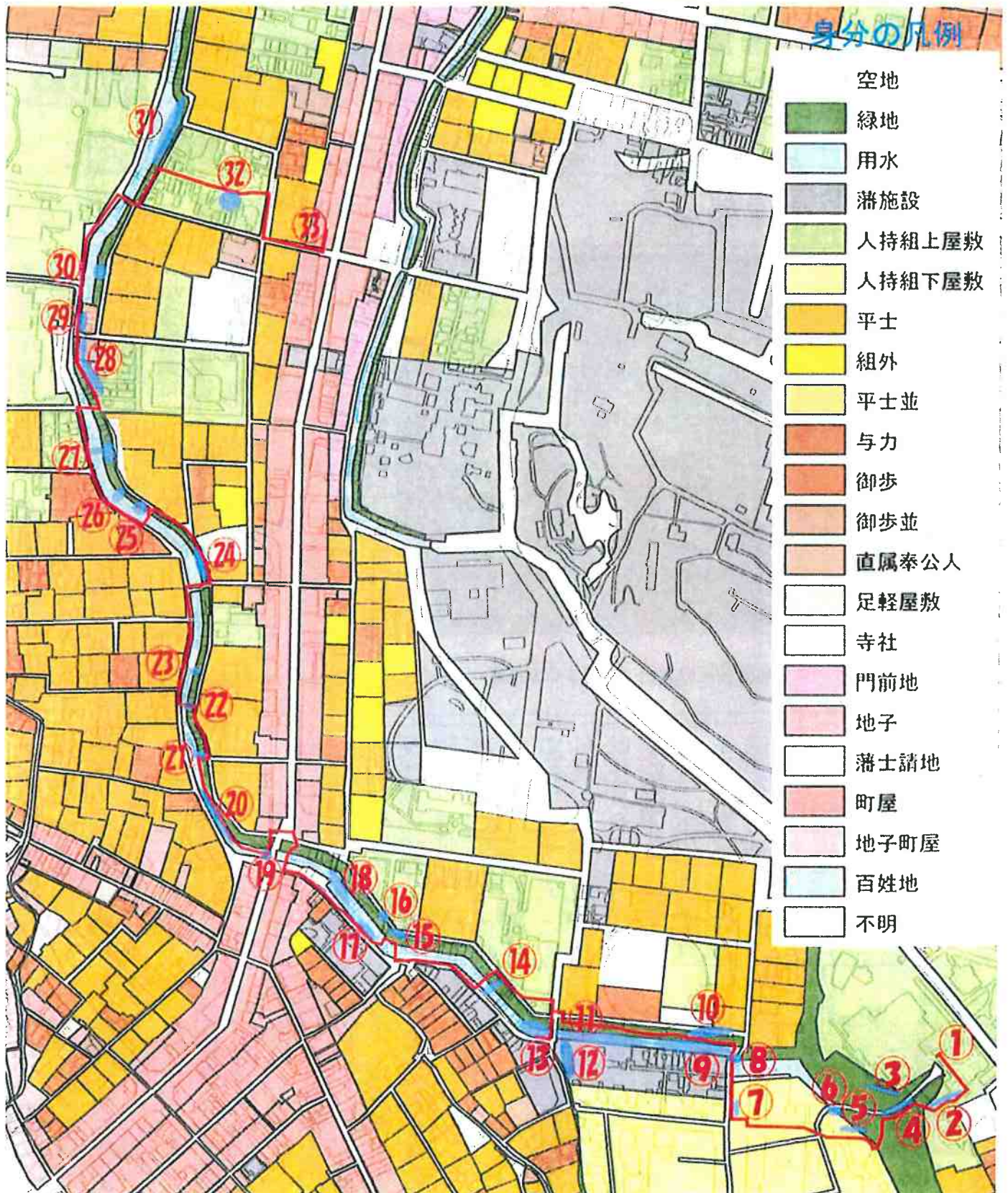


惣構のイメージ図

金沢城惣構跡散策会 (令和5年9月2日)

【訪ねるルートと番号を赤色、場所を薄青色で示しています】

【国土地理院基盤地図に寛文7(1667)年の身分配置を重ねています】



金沢工業大学増田研究室制作

【共同研究者：石川県金沢城調査研究所 木越隆三ほか、(株)日本海コンサルタント 橋本隆司】